令和4年度

社会福祉法人むつみ会

事業報告書

社会福祉法人むつみ会

自　令和 4年　4 月　1 日

至　令和 5年　3 月 31 日

目次

令和4年度　社会福祉法人むつみ会事業報告 3
1.　　社会福祉法人むつみ会　法人本部事業　令和４年度　事業報告 4
1. 役員会等審議事項について 4
2. 職員功労者の表彰について 5
3. 事業活動に係る決算概要 7
第一種社会福祉事業　母子生活支援施設　むつみ荘　令和4年度　事業報告 8
1. 利用者支援：母親 9
2. 利用者支援：小学生以上の児童 10
3. 利用者支援：幼児 11
4. 利用者支援：心理 13
5. 利用者支援：分園（サテライト）型母子生活支援施設 14
6. 利用者支援：アフターケア 14
7. 利用者状況 16
8. 施設行事 19
9. 職員研修・各種委員会 25
10. 視察関係 27
11. 外部への講師派遣 27
12. 防災訓練 28
13. 保健衛生環境整備 29
14. 寄附及び招待事業受入 30
15. 母親懇談会 33
16. 実習受入状況 34
17. 利用問合せ状況 35
18. 地域交流及び協力実績報告 36
19. 事故報告・苦情解決 37
3. 第二種社会福祉事業　むつみ荘児童一時預かり事業（一時預かり保育室たんぽぽルーム）令和４年度　事業報告 38
4. 第二種社会福祉事業　子育て短期支援事業　令和４年度　事業報告 39
1. トワイライトステイ事業 39
2. ショートステイ事業 41
5. 第二種社会福祉事業　よつば保育園　令和4年度　事業報告 42
1. 総括 42
2. 振り返り 43
3. 年間利用児数（各月１日現在在籍数） 45
4. 職種別職員数（年度末日現在） 45
5. 組織体制等 45
6. 勤務体制、時間等 45

7. 職員研修実施内容 45
8. 年間行事実施内容 45
9. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容 46
10. 設備、備品、遊具等の充実内容 46
11. 建物等修理・修繕実施内容 46
12. その他 46
6. 第二種社会福祉事業　病児保育室きらら　令和4年度　事業報告 48
1. 総括 48
7. 第二種社会福祉事業　むつみ保育園　令和4年度　事業報告 49
1. 総括 49
2. 年間利用児数（各月１日現在在籍数） 50
3. 職種別職員数（各月１日現在在籍数） 50
4. 組織体制等（年度末日現在） 50
5. 勤務体制、時間等 50
6. 職員研修実施内容 50
7. 年間行事実施内容 50
8. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容 50
9. 設備、備品、遊具等の充実内容 51
10. 建物等修理・修繕実施内容 51
11. 苦情・要望等報告 51
8. 第二種社会福祉事業　むつみ保育園一時保育事業　令和4年度　事業報告 53
1. 総括 53
2. 利用児数実績 54
3. 利用事由及び時間数 54
9. 第二種社会福祉事業　むつみ学童クラブ第一・第二　令和4年度　事業報告 55
1. 運営目標と結果 56
2. 利用実績 57
10. 公益事業　むつみ学習支援センター　令和4年度　事業報告 62
1. 運営目標と結果 63
2. 利用実績 64
11. 公益事業　生計困難者に対する相談支援事業（彩の国あんしんセーフティネット事業）令和4年度事業報告 66
12. 公益事業　食事補助クーポン券配布事業　令和4年度　事業報告 67

令和4年度　社会福祉法人むつみ会事業報告

昨年度に引き続き、新型コロナ感染症対応に追われる中、県・市当局と連携を図り、法人として提供できるうる支援サービスを事業所ごと職員連携のもと業務にあたった1年となりました。

また、少子高齢化が急速に進む中、法人を取り巻く社会環境や福祉情勢も大きく変化をし、また、社会経済も物価の高騰で、経済格差が拡大を続けてしまうのではと心配している。

これらの社会構造の変化が進むにつれて、家庭や地域との関係の希薄化したことによる社会的孤立や生活困窮への対応、虐待・DVの防止や権利擁護などが重要な課題となっている。

法人の目標である「子育て支援・家族支援」を念頭に置きながら、上記の事業の他にも彩の国安心セーフティーネット事業・埼玉県災害派遣チームへの参画をとおし、地域に開かれ、また貢献できる施設づくりを目指しつつ、関係機関とのネットワークの強化さらなる向上に努めてまいりました。

6月より、新規事業としてむつみ会食事補助クーポン事業を戸田市・戸田市社会福祉協議会・戸田市商工会の全面的バックアップの元開始することができ、子供の居場所づくり等の関係団体と連携を図り、協力飲食店約30店舗からスタートすることができました。

しかしまだ弱い立場にあるひとり親家庭や経済的困窮世帯および若年子育て家庭には厳しい状況にあることに変わりがない中、県・市及び関係機関のご協力を賜りながら、今年度についても職員一体となり鋭意努力を重ねてまいりました。今後も現状に甘えることなく、効率的・効果的な経営を実践して更なる発展を目指し努力を積み重ねてまいります。

尚、令和4年度の事業につきましては、本文をご覧ください。

令和5年4月
社会福祉法人むつみ会
理事長　永 塚　博 之

1. 社会福祉法人むつみ会　法人本部事業

令和４年度　事業報告

1. 役員会等審議事項について

開催年月日	審議事項等	出席者数
R4　6　1	令和４年度　内部監査 監査事項　むつみ会各会計について	監事(2)
6　9	令和４年度第1回理事会 認定事項　1. 令和3年度各事業所の事業報告について 2. 令和3年度各事業所収支決算書について 議案事項　1. 職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改定について(案)	理事(5) 幹事(2)
6　24	令和４年度　第1回　評議員委員会 認定事項　1. 令和3年度各事業所の事業報告について 2. 令和3年度各事業所収支決算書について 報告事項　1. 理事長活動報告	委員(7)
9　15	令和４年度　第２回　理事会 議案事項　1. 就業規則の一部改定について(案) 2. 職員の再雇用に関する要綱の一部改定について(案) 3. 職員給与規程の施行に関する事項の一部改正について(案) 4. 職員に対する人事考課の実施に関する要綱の一部改正について(案) 5. よつば・むつみ保育園の合併他について(提案)	理事(4) 幹事(1)
R5　1　17	令和４年度　第３回　理事会 議案事項　1. むつみ会給与規程の一部改定について(案) 報告事項　1. 理事長活動報告 2. よつば・むつみ保育園の合併他について 3. 職員採用について 4. 永年勤続表彰報告 5. 会計業務委託契約について 6. その他	理事(4) 監事(1)
1　17	令和４年度　第２回　評議員委員会 報告事項　1. 理事長活動報告 2. よつば・むつみ保育園の合併他について 3. 職員採用について 4. 永年勤続表彰報告 5. 会計業務委託契約について 6. その他	委員(6)
3　23	令和４年度　第４回　理事会 議案事項　1. 令和4年度むつみ会各会計補正予算書(案)について 2. 令和5年度むつみ会各会計収支予算書(案)について 報告事項　1.理事長活動報告 2. その他	理事(5) 監事(1)

2. 職員功労者の表彰について

就業規則に基づき、職員の表彰を行い、功労品を贈呈している。永年勤続者及び、アイデアを広く求め、業務等の改善を行った者がその該当者である。なお、アイデアは、正職員のみならず、派遣職員、パート職員、アルバイト職員からも広く募集しており、実効性の高かったものを評価している。当年度の表彰者は以下の通りだった。

【永年勤続者】
1. 酒井茂樹　むつみ荘　基幹的職員
「勤続15年（採用　平成 18年7月1日）」（永年勤続）

【園長賞】
＜令和4年 7 月＞
1. 飯浜由梨　よつば保育園　保育士
「園庭死角へのコーナーミラー設置による安全対策・防犯対策の向上」（環境改善）
→　遊具付近の死角を防ぐことも重要だが、不審者等防犯になる点が優れていると思われた。
2. 伊東光枝　よつば保育園　看護師
「ピューラックス等消毒方法の改善と新マニュアルの作成」（業務改善）
→　感染性胃腸炎の流行を敏感に察知し、消毒対象別に感染症対策を強化し、業務を改善した。

＜令和4年8月＞
1. 飯浜由梨　よつば保育園　保育士
「各クラス共用教材庫の使用状況ボートによる可視化と利便性向上」（業務改善）
→　誰もが不便に感じていても声に出さない箇所に気を配った点が特に良い点と思われた。
2. 中村展子　むつみ保育園　保育士
「北側非常階段手すり柵すき間への誤侵入防止ボードの設置」（環境改善）
→　思いもよらぬ個所に頭手足を入れる事故を防ぎ、色付きボードで視覚的にも注意喚起できた。
3. 田代麻深・本宮茉侑　よつば保育園　保育士
「卒業アルバム制作用テンプレート作成による作業の効率化」（業務改善）
→　手作業 2 週間を短縮するだけでなく、印刷費用などコスト削減に配慮した点も評価できる。
4. 傳田靖子　よつば保育園　保育士
「0・1・2歳組掲示物掲示場所の見直しによる保護者の利便性向上」（環境改善）
→　組ごとの掲示で見逃されがちだった掲示を改善し、保護者コミュニケーションを向上した。
5. 永原朗子　よつば保育園　保育士
「幼児に対する戸田市消防本部での体験的防災教育の実施」（業務改善）
→　震度7の体感や水害を含めた災害理解など、児童だけでなく職員研修としても寄与した。
6. 永塚優介　むつみ荘　少年指導員
「エレベーターホール雨水浸水防止のための雨よけ設置」（環境改善）
→　エレベーターへの浸水を防ぐ他、EVホールのスリップを防ぎ、清掃効率も向上した。
7. 永塚優介　むつみ荘　少年指導員
「感染症対策入室制限下におけるエレベーターホール掲示板の増設」（環境改善）
→　保護者対応での掲示板利用の不便さを改善した他、無機質なホールを美化できた。

8. 今井聡子　むつみ荘　少年指導員　／内田史子　むつみ学童クラブ　支援員
「食事用パーティションへの学年別色分けシールの取り付け」（業務改善）
→　色分けで識別しやすくなり、他児のものに触れる機会を減じて接触感染対策にもなった。
9. 守屋久美子　よつば保育園　保育士
「体操教室等におけるフリー保育士の同席による職員の資質向上」（業務改善）
→　フリー保育士の課題を発見して改善することで、支援の幅を広げる機会を提供した。
10.松岡彩夏　よつば保育園　主任職
「保育園における功労者報告の仕組みづくり：保育リーダーによる推薦」（業務改善）
→　功労者の推薦数が格段に増え、職員同士で努力を認め合う職場づくりに貢献した。

＜令和4年 9 月＞
1. 金子哲也　むつみ荘　主任
「むつみ荘3階緑地部再整備による防災備品等物置の設置」（業務改善）
→　デッドスペースの活用及び備蓄増設に伴い既存物置に空きができて、利便性が向上した。
2. 伊東光枝　よつば保育園　看護師
「4・5歳児向け性教育の実施及び職員への性教育園内研修の実施」（業務改善）
→　プライベートゾーンは幼児も関心を持ちやすい上、性犯罪予防上も非常に重要と思われた。
3. 松岡彩夏　よつば保育園　主任職
「園庭門扉のダイヤル式ループ錠設置による防犯対策の強化」（環境改善）
→　消防署連携の下、避難経路の逃げやすさを確保しつつ安全性を向上する点が優れている。
4. 井口孝子　むつみ学童クラブ　　学童補助員　／高梨修爾・田中ことみ　むつみ学童クラブ　補助員
「アルバイト職員の紹介」（その他：人財採用）
→　職員充足のみならず、信頼できる職員からの紹介であるため、安心感のある人財が増えた。

＜令和4年11月＞
1. 新妻美優　よつば保育園　主任　／金子哲也　むつみ荘　主任　／松岡彩夏　むつみ保育園　主任職
永塚優介　むつみ荘　少年指導員／田中朝子　同左　母子支援員／濱田輝織　よつば保育園　保育士
「社会福祉法人むつみ会創設 40 周年記念誌作成・記念品贈呈」（その他：広報）
→　子育て拠点として歩んだ 40 年の歴史を振り返り、関係機関に弊法人をアピールできた。

＜令和4年12 月＞
1. 守屋久美子　よつば保育園　保育士　／　松岡彩夏　よつば保育園　主任職
「緊急時連絡先チェックリスト（携帯用カード）の作成」（業務改善）
→　防犯訓練を踏まえた改善かつ大災害時初期行動マニュアルと携帯できる点を評価した。

＜令和5年2月＞
1. 関根久実　むつみ荘　母子支援員
「社会福祉士　国家資格取得」（資格取得）
→　多忙な業務の中、プライベートな時間を使い、自己啓発に努めたことは大いに評価に値する。

【表彰なしの努力賞】
1. 永塚博之　むつみ会　理事長
「全日本スキー連盟　公認 C 級検定員　資格取得」「同左　公認スキー指導員資格」（資格取得）
→　戸田市スキー連盟の教室や市民大会指導者としてボランティア奉仕を通じ、人脈を深めた。

3. 事業活動に係る決算概要

本年度の事業活動については以下の通りである。計算書類、定款、役員等は、弊会ホームページにて更新される。なお、本年度は、会計業務委託先の変更に伴い、過年度修正を行った。新規公益事業（食事補助クーポン券配布事業）の実施や寄付用口座を設けるなど、市民、地域、企業との連携を深めることができた。

法人全体

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	358,597	306,918	116.84%	
児童福祉事業	145,046	126,293	114.85%	本部、むつみ荘
保育事業	212,174	178,977	118.55%	保育園、学童クラブ
公益・収益ほか	1,375	770	178.57%	学習支援、自販機等
事業活動費用	312,895	301,838	103.66%	人件費216,044／211,606
事業増減差額	**45,701**	**5,079**	**899.80%**	
事業活動外収入	4,711	4,394	107.21%	償還利息1,155／1,212
事業活動外費用	1,385	1,212	114.27%	
経常増減差額	**49,026**	**8,262**	**593.39%**	

本部

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	396	603	65.67%	
事業活動費用	5,990	1,438	416.55%	
人件費	3,308	144	2297.22%	役員報酬計上
事業費	119	0	－	クーポン券等
事務費ほか	2,563	1,294	198.07%	記念誌作成、役員会開催
事業増減差額	**-5,595**	**-836**	**669.26%**	
事業活動外収入	106	116	91.38%	
事業活動外費用	131	0	－	
経常増減差額	**-5,620**	**-720**	**780.56%**	

むつみ荘

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	137,654	121,218	113.56%	
事業活動費用	98,573	115,595	85.27%	
人件費	70,559	91,188	77.38%	相談員派遣料請求
事業費	6,624	4,315	153.51%	光熱費増加
事務費ほか	21,390	20,092	106.46%	
事業増減差額	**39,081**	**5,623**	**695.02%**	
事業活動外収入	3,037	2,295	132.33%	償還利息増加
事業活動外費用	1,153	1,212	95.13%	
経常増減差額	**40,962**	**6,705**	**610.92%**	

よつば保育園

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	124,568	108,203	115.12%	未収金計上、コロナ・物価高騰補助金
事業活動費用	107,375	93,020	115.43%	
人件費	77,719	63,110	123.15%	
事業費	7,718	5,776	133.62%	給食費・光熱費増加
事務費ほか	21,938	24,133	90.90%	業務委託費減少
事業増減差額	**17,193**	**15,183**	**113.24%**	
事業活動外収入	1,075	1,123	95.73%	
事業活動外費用	95	0	－	
経常増減差額	**18,173**	**16,306**	**111.45%**	

むつみ学童クラブ

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	17,841	15,827	112.73%	未収金計上
事業活動費用	16,990	10,581	160.57%	
人件費	10,786	5,248	205.53%	相談員派遣料負担
事業費	2,360	1,963	120.22%	光熱費増加
事務費ほか	3,843	3,370	114.04%	記念誌負担
事業増減差額	**851**	**5,246**	**16.22%**	
事業活動外収入	0	11	0.00%	
事業活動外費用	0	0	－	
経常増減差額	**851**	**5,256**	**16.19%**	

むつみ保育園

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	69,766	54,947	126.97%	未収金計上、コロナ・物価高騰補助金
事業活動費用	75,044	72,765	103.13%	
人件費	50,422	48,726	103.48%	
事業費	5,942	3,985	149.11%	給食費・保育材料費増加
事務費ほか	18,680	20,054	93.15%	土地賃借料減少
事業増減差額	**-5,278**	**-17,818**	**29.62%**	
事業活動外収入	485	851	56.99%	
事業活動外費用	0	0	－	
経常増減差額	**-4,792**	**-16,967**	**28.24%**	

むつみ学習支援センター

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	7,392	5,350	138.17%	未収金計上
事業活動費用	8,724	8,141	107.16%	
人件費	3,249	3,189	101.88%	
事業費	778	646	120.43%	
事務費ほか	4,696	4,305	109.08%	
事業増減差額	**-1,331**	**-2,791**	**47.69%**	
事業活動外収入	7	0	－	
事業活動外費用	0	0	－	
経常増減差額	**-1,324**	**-2,791**	**47.44%**	

収益事業

単位（千円）

科目	当年度	前年度	前年比	内容・特記事項等
事業活動収入	980	770	127.27%	
自動販売機	963	770	125.06%	災害時救援型自販機
貸出会議室	17		－	こども食堂等
事業活動費用	200	297	67.34%	
事業増減差額	**779**	**472**	**165.04%**	
事業活動外収入			－	通帳利息等
事業活動外費用	4		－	過年度修正
経常増減差額	**775**	**472**	**164.19%**	

第一種社会福祉事業　母子生活支援施設　むつみ荘

令和4年度　事業報告

今年度は、理念に基づき　職員一人ひとりがチーム支援を念頭に置き、多種多様な課題を抱え当施設を利用することとなった利用者に安心・安全を確保し、専門的・多機能な支援サービスを提供することができました。

また、3年ぶりに第三者評価を受診し、施設として不足している運営・支援・チーム連携不足の部分を評価していただき、見直しをすることができた1年でもあった。

新型コロナ感染症の対応方法を図りながら、会議・研修などオンライン等を活用し、施設としてできる限りに職員ひとり一人にスキルアップを図った1年でもありました。

この感染症状況の中、施設の持っている専門性を少しでも提供できるように工夫し、地域社会から必要とされる施設として、一時預かり・トワイライトステイ・ショートステイ・食育サポート・彩の国あんしんセーフティーネット事業等を十分ではありませんができる範囲で創意工夫をしながら実施し、施設の持っている専門性を地域にアウトリーチすることにより、子育て支援の向上についても努力をしました。

現状に甘んじることなく、職員ひとり一人が鋭意努力を重ね、さらなる改善・努力及び工夫し、利用者からも地域からも必要とされる施設づくりに取り組むため職員が一体となり例年とは違った特別な1年だったと思います。

令和　5年　4月
母子生活支援施設むつみ荘
統括施設長　永　塚　博　之

1. 利用者支援：母親

今年度は、本体施設入所6世帯（内広域からの入所5世帯）、本体施設退所 6 世帯（内広域からの入所 3 世帯）、本体からサテライトへの移行はなく、サテライトからの退所は 3 世帯であった。入所理由は、DV 被害からの避難5世帯、経済困窮2世帯であるが、入所後に複雑な家族背景が分かり、母の精神疾患や子の発達障害傾向、虐待（暴言による心理的虐待）や不適切な養育（室内不衛生など不適切な環境）など多岐にわたっていた。

入所後は、その家庭ごとに個別のアセスメントを行い、必要な支援を行ってきた。

DV 被害からの避難では、生活準備支援や離婚調停準備のための弁護士との連携や裁判所への同行支援、氏の変更や住民票関連の諸手続き、福祉事務所・保育園・学校・警察や児童相談所・保健センター等関係機関との情報共有などの支援を行った。また精神疾患や発達障害傾向の母子が年々増えており、障害サービスの利用について、退所後の母子だけでの生活を見据え、入所中に適切な社会資源と繋がるよう、母と共に考え、支援を行った。経済困窮世帯には、母と相談のうえ、家計管理を行った世帯もあった。少しずつ計画的に使用・貯金が出来るよう支援をした。

日常生活に手助けが必要な世帯には、炊事や居室内の片付け、入浴支援、買い物等、また保育園や学校への送迎支援、子どもの生活リズム確立のため朝のモーニングコールを行った世帯もあった。

母の就労に関しては、就労相談への同行や情報提供を行った。就労は、経済的自立だけでなく社会とのつながりや自己肯定感を得られる機会とも考え、社会資源を幅広く活用し、社会参加の場を定期的に確保することも実施してきた。

また母が外国籍である方も増えており、日本語理解が十分でないことや自国文化との相違などが母子の生活に不利益とならないように、母と意思疎通を取りながら支援を行ってきた。更に、母子関係不調の世帯もある。DV や虐待を受けてきた母子の傷つきの影響はとても大きいと考えられるため、心理職や他機関と連携しながら対応を行った。

入所者の中には、原家族や親族との関係が薄く、周囲から養育の手助けが得られず、孤独感を感じながら子育てする方も多いため、それらの解消を目的にすることも含め、上記のような様々な支援を組み合わせ、専門性を活かしながら支援を行っている。

また利用者支援のひとつとして、今年度も例年通り NPO 法人セカンドハーベストジャパン様、㈱ニチレイ様、カーブス様のご協力のもと、『食育』への取り組み（食育支援サービス事業）をスーパーマーケット方式で行った。多くの食品を頂け、とても助かっているとの声はもちろんあがっているが、物価高騰が影響しているのか、頂けるものが限定されてきている現状がある。次年度は更に食材支援を頂ける団体を開拓していく予定である。

更に「みんなで集う食事会（ちちんぷいぷい）」は、戸田市商工会女性部の皆様のご協力を頂き、コロナ禍で出来ることを考え、縮小した形式ではあるが実施した。集会室で食べる人数を限定し、他の世帯にはお弁当形式でお渡した。コロナ禍で感染対策をしながらではあるが、皆でお喋りしながらの食事の楽しさについて利用者から声が上がり、職員もこの会の意図である「孤食や孤立感の軽減」の重要性を再認識できた。

母親主体の行事である「母の会」は「自己肯定感向上」を目的とし、資生堂の方をお招きし、時短ビューティー講座を実施。「忙しいママたちでも時短で簡単に出来るお化粧」を教えて貰い、母らから好評を得た。この企画は、次年度も同じ目的を持ち、継続していく予定である。

今年度は、新型コロナ感染対策が少しずつ緩和してきたため、上記のような支援を実施しつつ、行事は工夫しながら開催できた部分もあった。次年度は感染対策が解除され、行事等はコロナ前に戻るが、集団での活動であることには変わりないため、適度な緊張感を持ち、また日常支援は個別化を大切にしながら、利用者にとって安心安全な支援を提供していきたい。

2. 利用者支援：小学生以上の児童

令和４年度　利用児数（サテライト児童は含まない）					
利用児童総数		小学生	中学生	高校生	合計
		13	4	2	19
内訳	新規入所児童数	3	0	0	3
	退所児童数	3	1	0	4
	一時保護児童数	0	0	0	0
	サテライト移行	0	0	0	0

むつみ荘への入所に至る児童の中には、不安定な環境で育ち、自尊心が低く、複雑な課題が混在する児童が多数見受けられる。そのため、児童との関わりにおいては自己を肯定することを目的とし、受容を主軸とした対応を心掛けた。

児童が抱える課題は、被虐待経験、発達障害的言動、暴言・暴力、母子関係の不安定さ、経験不足など複雑で多岐にわたる状況から派生したものである。児童一人ひとりに応じた配慮が求められ、その都度、職員間で対応を検討した。母や児童の意向も交えながら個別対応（学習、心理面談等）を実施。適宜、関係機関との情報交換を行なった。

小学生対象の学習支援として、週に1度学習会を実施した。三密を避けるため、今年度は4月1・2・3／4・5・6年の２つに実施曜日を分け、より一人ひとりに目や対応が行きわたるようにした。なお、勉強の習慣づけ、基礎学力の定着、成功体験の積み重ね（自己肯定感を育む）を目的とした。学力の程度や家庭での学習状況などの把握も行なった。担当職員との個別の学習、あそびを通しての関わりも行なった。

行事では、季節を感じ楽しむものや伝統・由来を学ぶ内容に配慮した。また、安心・安全のため、事前に母親へ説明し、許可・協力を得るよう心掛けた。

中高校生対象の学習支援として、学習の促しをするために学習支援センター（Lcafe）や場所の提供を必要に応じて職員が学習を直接的に支援した。テスト期間や高校受験といった時期には、回数を増やしたいという要望に応えられるよう体制を整えた。

中高生対象の行事では、高齢児童としての責任感を養うため、小学生行事との差別化を図った。その「特別感」を醸成できるよう、児童には準備段階からの参画を促した。その過程で、児童・職員は互いをよく知ることができ、関係性がより発展できたと思われた。

【学習会実施状況】

小学生の学習会は、利用児 13 名を対象に少年指導員と基幹的職員で支援した。4月から10月までは月・水・金で2学年ずつに分け、11月からは月・水で３学年ずつに分け個別性の高い対応ができるよう整えた。支援した職員各々の視点を活かし、児童の特徴や習熟度を理解・共有し、児童に適した対応を模索・実施できた。学童に通う児童で母親が就労や傷病等のため学童迎えできない場合は、職員が迎え、学習会に参加できるよう配慮した。なお、学習会の参加は、母子の意向を尊重し、事前に学習会予定を伝え、その都度参加者を募るようにした。

【令和４年度の特徴】

〇新型コロナウィルスの感染状況を鑑みつつ、学習会・個別学習・自主学習を実施した。

〇感染対策として、消毒・検温・マスク・距離感のとれた席配置などを実行した。

〇高学年児童の学習会は実施会場を第二複合施設3階の学習室に変更し、学習へ取り組みやすい環境整備を行なった。

【小学生の学習会実施時間】

17:50　入室、勉強準備
18:00　開始、挨拶をする
19:00　終了、挨拶をする
19:05　☆閉室

☆学童迎え依頼があった児童は
　母の迎えまで待つ(～19:05 まで保育)

学習会の主な目的は
○「宿題」や「勉強」に取り組む習慣づける事
○「分からない・教えて」といえる事
○「できること」を増やし、勉強への意欲を高める事
の三点である。なお、学習会後には保護者児童の様子を伝え、保護者との連携に努めた。

【令和 4 年度　学習対応実施状況】　※人数は延べ参加人数。長期休暇期間は実施していない

	小中高生学習利用状況						
	学習会			個別学習		自主学習	
月	小1，2	小3，4	小5，6	小学生	中高生	小学生	中高生
4	6	4	8	1	2	0	0
5	6	3	7	0	0	0	0
6	5	5	7	0	0	0	0
7	1	5	3	0	0	0	0
8	0	2	2	0	0	0	0
9	3	8	6	0	0	0	0
10	1	7	7	0	0	0	0
11	4	8	0	0	0	0	0
12	1	4	0	0	0	0	0
1	1	9	0	0	0	0	0
2	2	4	0	0	0	0	0
3	0	7	0	0	0	0	0
合計	**30**	**66**	**40**	**1**	**2**	**0**	**0**
	136			**3**		**0**	

【個別学習】
小中高生を対象に少年指導員・母子支援員で支援した。基本的には利用児や保護者からの希望を受け付けつつ、職員からも促しの声かけを行ない、復習や補完の時間にあてた。

【自主学習】
自主学習として、学習室の個人利用を許可した。基本的には平日の 19～20:45 の利用(中高生限定)が主だが、希望があれば休日利用も可能とし対象に小学生も含めた。幼いきょうだいがいる世帯の場合、居室で勉強をすることの困難さもあるため、利用児それぞれの利用理由を尊重して受け入れた。利用時間が被る場合は相談室も学習場所として利用可とした。高校生から、テスト週間中の利用時間の延長希望があり 22 時まで許可した。

3. 利用者支援:幼児

施設内保育室:たんぽぽルーム

母親の就労・求職活動・通院・離婚調停・市役所の手続き・面談・入園前や多子世帯の育児負担軽減、特例として登園出来ない子どもの預かり等、様々な理由で施設内保育を実施した。

施設内保育を実施するにあたって母・乳幼児の理解を深めるために面談を行い、面談時には子どもの一日の生活の流れや、食事・アレルギー(給食の献立表をもとに)、睡眠時の様子など細かく聞き取り、母子共に安心して利用出来る様にしている。

給食においては、色々な食材を体験すること、栄養バランスを十分に確保し、楽しい雰囲気の中で食事指導にも力を入れ、スプーン・フォークの使い方を覚えていくことや咀嚼等も考慮しながら取り組んだ。アレルギー除去食、離乳食の場合は引き続き弁当での対応を保護者に説明しお願いをした。また水分補給に関しては、子どもの健康・安全のバロメーターのため、その子の必要性に応じて摂取を心掛けた。午睡においては安全面を十分に考慮し、ブレスチェック・視診等を行った。

保育園が決まった家庭においては、慣らし保育の送迎と母が就労終了までの補完保育を行った。母の就労時間や育児負担軽減等様々な理由により保育園の送迎が不可能な家庭に代わって、保育士が送迎支援、その後食事・入浴介助・居室内のごみ回収も行う事があった。

18：00 以降は静養室にて保育を実施した。回復期にある病児の見守り保育やアフターケアとして退所児の保育も行った。

施設内での母親懇談会・母の会では預かり保育を実施した。その中では月齢や発達に応じて、保育の場所の工夫や遊ぶ玩具にも安全性を配慮した。施設内行事においても感染防止対策を取って実施した会には積極的に参加をし、母子との関りを深めた。クリスマス会では担当者間で話し合って居室内の子ども達のクリスマスプレゼントを購入した。保育室として季節の変化を意識してもらう為に、玄関入り口の壁面制作と草花の植え替えを実施した。

今年度も新型コロナウィルスの影響により、蔓延防止期間中は蜜を避けて保育者 1 人に対して保育児 1 人の保育を基本として行った。子どもの体調確認、換気の徹底、食事場面ではパーテーション利用や距離の確保等可能な限りの感染防止対策に取り組んだ。また、陽性者世帯に関しては、感染対策を行いながら、買い物やごみ捨ての代行も行った。

保育士と母子支援員で乳幼児の保育の様子を情報共有する機会を持ち、他機関に多くの情報が伝えられるように協力をしながら支援を実施した。子供達が安心して過ごせるように温かい雰囲気と優しい言葉がけを心がけて保育に取り組んだ。

来年度も多くの乳幼児の利用が想定されるので、衛生面・安全面に配慮しながら保育を行なっていきたい。

【令和4年度　施設内保育実施状況】

保育理由	男女別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
仕事／通学	男	5	1					1	1					8
	女													0
買物	男				1	1			1					3
	女				1			4	2					7
通院	男	2										3		5
	女									1		1		2
市役所	男	1			1		1			3	3	3	4	16
	女	2			2								2	6
面談	男	2	1	1						2	3	1	1	11
	女			3	2		2		3		2	2		14
リフレッシュ	男													0
	女				8	4								12
養育支援（相談）	男													0
	女													0
養育支援（その他）	男	2			12	1		1	2	4	12	13	33	80
	女			1	24		2	2	11	4			11	55
病児預かり	男													0
	女													0
送迎支援	男													0
	女												15	15
小計	男	12	2	1	14	2	1	2	4	9	18	20	38	123
	女	2	0	4	37	4	4	6	16	5	2	3	28	111
合計		14	2	5	51	6	5	8	20	14	20	23	66	234

延人数	234 人

実人数	75 人

4. 利用者支援：心理

新しく入所された世帯に対し、生活に落ち着きが見られる1～2か月をめどに、初回心理面談を実施している。初回の面談では、相談室の紹介、守秘、心理士相談の利用の仕方等を説明した上で、入所に至る経緯を振り返り、新しく始まった施設生活についての不安や困りごとを尋ねている。利用児者が希望すれば、そのまま定期的な継続面接の約束をし、相談支援にあたることとなる。

当年度の相談内容は、職業選択、対人関係や養育における悩み、生い立ちやトラウマ、精神症状などが見られた。支援方法は、カウンセリング、プレイセラピーを実施した。生活や学習上の困難を利用児者と共有できる場合には、心理検査、認知トレーニング、箱庭療法、コラージュを勧め、実施に至ることもあった。

心理職は複数人配置されているため、月に一度程度、心理士会議の時間を設け、情報共有、分担内容、事例検討を行った。

なお、現入所者だけでなく、アフターケアとして心理支援を実施している。また、法人内の別事業所での個別支援や学習支援なども行っている。

【別紙　令和4年度　心理療法等事業報告】

（1）実施母子数　　19　人

（2）心理療法等の回数　　177　回

内容	心理療法	心理検査	生活場面面接（延べ人数）	施設職員等への助言及び指導	処遇会議等への出席	その他	計
合計	128	2	0	47	0	0	177

（3）対象母子の年齢・主な理由別人数（実人数）　　**（単位：人）**　　19　人

	身体的暴力又は身体的虐待	経済的暴力又は保護の怠慢・拒否	性的暴力又は性的虐待	心理的暴力又は虐待	ひきこもり	その他	計
0～3歳未満							0
就学前児童							0
小学生	1						1
中学生	2					1	3
上記以外の児童	1					1	2
母親	7	3				3	13
計	11	3	0	0	0	5	19

5. 利用者支援：分園（サテライト）型母子生活支援施設

本年度、本体施設からサテライトへの移行は 2 世帯、サテライトからの退所は 3 世帯であった。令和 4 年 3 月末現在、2 世帯がサテライトに入所している。

退所の準備として、職員が建物に常駐していないサテライトという環境で、母子での生活を送っている。定期訪問の他、面談や電話相談、同行支援なども必要に応じて行うが、本年度は、母の就労、子どもの特性、母子関係、学校や学童保育などとの関係性について、学校や関係機関と連携を図る機会が多かった。

本年度もコロナ禍にあり、感染対策を講じて、卒業進級を祝う会、クリスマス会等本体施設とサテライト合同の行事を行った。食育サポートは、食材等だけでなく、商工会女性部に作って頂いた食事を届けもした。寄附で頂いた洋服や、クリスマスプレゼントの寄附、無料美容室の招待など、本体施設と同様にサテライト利用者にも提供し喜んで頂いた。

全国の母子生活支援施設の中で、サテライト事業を行っている施設は多くはない。地域生活に慣れていくことを目標に、退所後の生活をイメージしつつ、サテライトで生活を送ることは、自立準備にふさわしいと考えている。

今後も、母子家庭の実情に合わせた段階的な支援が提供出来るよう、サテライトでの支援に取り組んでいきたい。

6. 利用者支援：アフターケア

「母子生活支援施設」を退所し、地域で新たな生活を送ることで、利用者が不安やストレスなどを感じることがある。また退所後、母自身／子自身あるいは家族間の新たな課題に直面することも、これまでの退所者からの話で分かってきている。そのため、むつみ荘退所後も困りごとや悩みごとなどをいつでも相談できるよう、退所時にアフターケアの案内を行い、希望を確認し、必要に応じた支援を行っている。

アフターケアの内容としては、「来所・電話相談」・「自宅訪問」・「子どもの学習支援」・「心理支援」・「食育サポート事業（食材提供）」を実施している。また退所者のみならず地域の支援として「一時保育」・「ショートステイ」・「トワイライトステイ」・「母子会」をご案内した。また「季節のお手紙」として、全ての退所世帯を対象に、職員の写真入り年賀状の送付、子どもを対象とした暑中見舞いを送付した。更に、これも例年通りであるが、食育サポート事業においては、NPO 法人セカンドハーベストジャパン様や、カーブスフードドライブ事務局様、戸田市商工会様、地域・御近隣の皆様他、多くの方々のご協力の下、各企業様よりの食材等をご寄附いただき、利用者の食について支援することができた。なお退所者の皆様には電子メール等にて開催日程等の情報を伝えている。食育サポートは、食材受け取りに来荘し「ついでに」という名目で困りごとを相談する契機となり、退所利用者から近況の報告や相談を頂くことも多い。毎月行っている退所者向けの食育サポートでは、毎月 20 世帯近くの退所世帯が来荘していて、地域で暮らす世帯のニーズを強く感じる 1 年でもあった。

昨年度以上に今年度も退所者への支援回数が増えている。特に以下の表の中では「その他」に含まれる「支援機関との連携、情報共有」が増えている。また当荘近隣への退所のため、職員の「訪問」が可能になり増加したこと、定期的な「心理面談」を継続したため、心理支援が増えたことが、支援回数の増加に繋がっている。今年も当荘から地域に自立（退所）する際に支援機関と連携し、その後も連携を続けていく事で、切れ目のない支援を実施できた。

今後も、地域退所世帯がいつでも相談できる場所として、準備して待ちたい。

今年度実施したアフターケアの件数等詳細については、別紙を参照のこと。

【アフターケア利用状況】

令和 4 年 3 月 31 日 現在

利用月	電話				来所				訪問		保育		心理		食材提供	学習支援	その他		総計
	相談		近況		相談		近況												
	母	子	母	子	母	子	母	子	母	子	母	子	母	子	世帯	子	母	子	
4月	1	0	9	3	0	0	3	2	2	1	0	0	1	3	13	0	2	0	40
5月	4	0	2	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	10	0	2	0	25
6月	5	0	3	0	2	0	10	0	1	0	0	0	0	4	11	0	3	1	40
7月	3	0	7	1	0	0	2	2	2	12	0	8	1	5	8	0	6	13	70
8月	9	0	11	1	0	0	10	0	3	0	0	0	1	5	14	0	11	0	65
9月	3	0	4	0	2	0	5	1	0	0	0	0	1	5	15	3	7	0	46
10月	9	0	7	2	2	0	5	3	0	0	0	0	3	4	11	4	9	7	66
11月	3	1	2	0	4	1	7	1	0	0	0	0	1	4	24	3	5	1	57
12月	4	2	6	2	1	0	10	1	0	0	0	1	1	5	15	4	5	3	60
1月	10	2	10	2	3	1	3	0	0	0	1	1	0	5	10	2	5	2	57
2月	4	0	14	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	1	7	1	2	3	38
3月	9	0	9	2	4	0	6	3	3	0	1	0	1	2	38	2	12	5	97
集計	64	5	84	15	19	3	67	14	11	13	2	10	10	45	176	19	69	35	661

母利用合計	子利用合計	総合計
500	161	661

7. 利用者状況

令和5年３月31日現在

（1） 各月利用世帯人員数

本体施設

入所世帯定員	20 世帯(現員 16 世帯)	利用率	80%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	年間利用率
世帯	16	16	16	19	18	18	16	16	17	19	19	19	209 世帯	87%
人員	45	45	45	52	50	50	43	43	46	50	50	50	569 人	

サテライト

入所世帯定員	5 世帯(現員 3 世帯)	利用率	60%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計	年間利用率
世帯	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	45 世帯	75%
人員	10	8	8	8	8	8	8	8	6	6	6	6	90 人	

（2） 各年度別入所者数

本体施設

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
世帯数	11世帯	10世帯	9世帯	7世帯	7世帯	9世帯	6 世帯
人員	30人	22人	23人	14人	16人	27人	14 人

サテライト

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
世帯数	1世帯	1世帯	3世帯	1世帯	3世帯	0世帯	2 世帯
人員	3人	3人	7人	2人	6人	0人	4 人

（3） 各年度別退所者数

本体施設

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
世帯数	8世帯	8世帯	8世帯	7世帯	4世帯	6世帯	6 世帯
人員	20人	20人	25人	16人	8人	13人	18 人

サテライト

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
世帯数	2世帯	2世帯	1世帯	1世帯	2世帯	1世帯	3 世帯
人員	5人	5人	2人	3人	5人	2人	6 人

（4） 当該入所者に係るむつみ荘と契約した福祉事務所

福 祉 事 務 所 名	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
戸田市福祉事務所	7	6	7	7	4	4	1
戸田市外	5	6	1	1	6	5	5
合 計	10	11	13	8	5	10	6

（5） 主な入所理由（サテライト移行世帯も含む）

理 由	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
経 済 困 窮	6	5	6	17	11	5	3
子の養育支援	2	4	1	2	1		
精神的疾患等		1		2			
D V	3	1	5	7	8	4	5
そ の 他	1	1			1	1	
合 計	12	12	12	28	21	10	8

（6） 主な退所理由（サテライト移行世帯も含む）

理　　由	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
結　　婚（復縁含む）	1	1				1	1
サテライト利用	1	1	2	1	3	2	2
公営住宅入居				1			1
民営住宅入居	8	8	6	7	3	1	6
身内の介護等							
子　が 18 歳							
親　と　同　居	1	1				1	
子が施設等に入所の為						1	
仕事の都合（勤務状況等）						1	
その他	1	1	2	1	1		1
合　　計	12	12	10	10	7	7	11

（7） 家族構成の状況

本体施設

家族数	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	令和 5年 3月 31日現在計
世帯数	8	5	3	0	16 世帯
人員数	16	15	12	0	43 人

サテライト

家族数	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	令和 5年 3月 31日現在計
世帯数	2	0	0	0	2 世帯
人員数	4	0	0	0	4 人

（8） 入所期間状況

本体施設

期間	1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5年以上	合計
世帯数	5	5	3	0	1	2	16 世帯
人数	11	17	7	0	2	6	43 人

サテライト　　（記載省略）

（9） 近年退所者の平均在所年数（サテライト利用者も含む）

入 所 期 間	28年度	29年度	30年度	31年度	R2年度	R3年度	令和 5年 3月 31日現在
1 年 未 満	5	3	3	2	1	3	1
1～2年未満	3		2	5		1	4
2～3年未満	3	1	3	3	4	1	3
3～4年未満		3	2		1	2	2
4～5年未満	1				1		1
5～6年未満							
6～7年未満							
7～8年未満							
8 年 以 上							
合 計 世 帯	12	7	10	10	7	7	11

（10） 母親の年齢別状況

本体施設

平均年齢　37 歳

年 齢	20歳未満	20～25	26～30	31～35	36～40	41歳以上	合計
人 数		2	2	3	5	4	16

サテライト

平均年齢　35 歳

年 齢	20歳未満	20～25	26～30	31～35	36～40	41歳以上	合計
人 数			1			1	2

（11） 学年別状況

本体施設

未就学児	13	人

種別	小学生						計	中学生			計	高校生			計	合計
学年	1	2	3	4	5	6	11	1	2	3	2	1	2	3	2	15人
人数	1	1	4	0	3	2		1	1	0		1	0	1		

サテライト

未就学児	2	人

種別	小学生						計	中学生			計	高校生			計	合計
学年	1	2	3	4	5	6	0	1	2	3	0	1	2	3	0	0人
人数																

（12） 児童男女・年齢別状況

本体施設

平均年齢	8.0	歳	未就学児	13	人

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男		1	2		1	2	2	1	1	2		1	1	1	1	1				17
女		1	3	1	1	1				2		2	1				1		1	14
合計	0	2	5	1	2	3	2	1	1	4	0	3	2	1	1	1	1	0	1	31

サテライト

平均年齢	5.5	歳	未就学児	2	人

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男						1	1													2
女																				
計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

＜参考＞

【職員体制】

区　分	施設長	事務員	直接処遇職員			医師	栄養士	調理員	その他（保育・心理）	計
			母子支援員	看護師	少年指導員					
国基準　a	1		3		2	1		1	2	10
現員 b(c+d)	1	0	6	0	4	1	0	1	2	15
常勤 c	1	0	6	0	3	0	0	1	2	13
非常勤 d	0	0	0	0	1	1	0		0	2
差引過不足 b−a	0	0	3	0	2	0	0	0	0	5

（資格：福祉施設施設長資格1名、精神保健福祉士1名、社会福祉士3名、保育士6名、
放課後児童指導員4名、臨床心理士2名、認定心理士1名）

【勤務体制】

朝　番	7:30～16:00	日　勤	9:00～17:00
早　番	9:00～17:30	中　番	10:30～19:00
遅A番	11:30～20:00	遅B番	12:30～21:00
宿　直	14:00～翌15:00(就寝　22:00～翌)6:00		

8. 施設行事

子どもの健全発達支援の目的で、グループワークやレクリエーション活動を提供した。季節に応じた催し、親子親睦旅行などを通じ、母子関係の安定や再構築もねらいである。結果的に、利用児者同士にゆるやかな交流が生じ、ピアサポート効果もあるようだった。

行事名/種類		実施日／概要
卒業進級を祝う会	集会・配布	令和 4 年 4 月 1 日 （ 金 ） 18 時 0 分 ～ 18 時 30 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 名 小学生 3 名 中高生 2 名 母 親 1 名 職員・実習生・Vr 6 名 その他( ) 名 費用: 64,904 円		コロナ禍であるため、進級した子のみを対象として「お祝いの会」を実施した。感染予防のため簡単な集まりにはなったが、対象児が抱負を述べ、写真撮影など行い、皆でお祝いをした。その他の世帯には、お弁当・デザート(ドーナツ)を配布し、皆の進級をお祝いをした。
中高生 工作行事①	集会	令和 4 年 4 月 24 日 （ 日 ） 13 時 30 分 ～ 16 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 名 小学生 名 中高生 4 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 0 円		中高生工作の時間を使って、母の日のプレゼント工作を行なった。内容はレジンを使って自由にコンパクトミラーをデコレーションした。 初参加は安藤陸人。職員の初参加は石井Tとなった。 レジンは全員経験があったため、特に教わることもなく各自デザインを考えて制作していた。子どもたちからもっと大きい鏡でやってみたいと意見もあった。
こどもの日	配布	令和 4 年 4 月 28 日 （ 木 ） 17 時 30 分 ～ 時 分 場所: 事務所
参加者数: 幼 児 15 名 小学生 10 名 中高生 8 名 母 親 16 名 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 名 費用: 126, 23 円		こどもの健やかな成長を願って五目おこわ、から揚げ、柏餅のお渡しを行った。おこわにはもち米を使用し具材も通常より多くいれ炊き込みをした。から揚げについても日頃からご支援いただいているニチレイ食品のものを使用し母子ともに大変喜ばれた。 柏餅についてはコロナ感染症には配慮する形で注文時に個包装をお願いした。 夕食としての配布ということで母親からは「助かる、夕飯作らなくていい」と本音が聞かれ、子どもからも「ご飯だ、からあげだ」と嬉しそうであった。 高年齢児の世帯にはおかわりを準備した。
ちちんぷいぷい①	集会・配布	令和 4 年 5 月 1 日 （ 金 ） 18 時 0 分 ～ 19 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 本体 16世帯 サテライト 4世帯 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 名 費用: 11,990 円		みんなの食堂「ちちんぷいぷい」は、本来は孤食等の防止の意味を持ち、皆での食事を目的としてきたが、コロナ禍であることを鑑み、皆で食べる人数を限定し、その他の世帯には食事を配布する形式とした。メニュー～ポトフ・からあげ・ウインナー・白米～ みつばちで食べたのは4世帯11名。幼児がいる世帯を中心に声をかけ、テーブルは世帯ごと、テーブルの間隔をとり、皆の顔が見える位置で設定し、会食をした。久しぶりで、慣れないスタイルではあったが、徐々に広げていけると良いだろうと考える。
小中高生母の日	配布	令和 4 年 5 月 3 日 （ 火 ） 10 時 0 分 ～ 11 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 名 小学生 12 名 中高生 5 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他( ) 名 費用: 6,726 円		小中高生母の日行事としてイニシャルチャーム、デコレーションミラーを母の日前までに作成、当日母に渡せる児童は直接渡している。 イニシャルチャーム昨年度行っているため、昨年度在籍していた児童はデコレーションミラーとし、初めて行う児童はイニシャルチャームとした。 児童も集中して制作に取り組んでおり、母自身も喜んでいた様子。
乳幼児 母の日	集会・配布	令和 4 年 5 月 3 日 （ 日 ） 時 分 ～ 時 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 15 名 小学生 名 中高生 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 2,340 円		子どもに出来るところを作ってもらったので、ひとりひとりの発達状態を知る手掛かりになった。 ・渡す日を8日にしたため、夕方以降に帰荘する母子に渡すのが大変になってしまった(宿直の本田さんから渡したケース3件)せめて、前日から渡したほうが時間的余裕を持てたと思う。

行事名/種類	実施日／概要
中高生 工作行事② 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 5 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 2,436 円	令和 4 年 5 月 22 日 (日) 13 時 0 分 ～ 14 時 30 分 場所: みつばち 〇机い方など動画を使い紹介したり、試作を見てもらったり、イメージを持ってもらう。 〇最初にクッキーを2個渡し、4個まで作れるお伝えをしたところ4個作ってくれる方が多かった。 〇いつものレジンの工作ではなかったので最初のスタートが手間取りがあったが楽しんでいる様子が見られた。
中高生 農業体験 外出 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 2 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 24,690 円	令和 4 年 6 月 4 日 (土) 8 時 30 分 ～ 15 時 0 分 オリーブパーク東京 〇体験の内容 料金を払った後は特別案内なく、流れで稲を一人20株取って田んぼに植える流れとなる。植えると終了となり、川で足を洗って体験が終了となる。今回は貴重な体験をすることが出来たと考えている。 〇二人の様子は動きの確認をできるだけ早めに伝えた。二人はいい意味で干渉せず、お互いに関わりがほとんどない。
小学生 クッキング 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 9 名 中高生 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 3 名 費用: 5,513 円	令和 4 年 6 月 5 日 (日) 10 時 30 分 ～ 12 時 0 分 場所: みつばち 対象児童が12名と多かったため1～3年生午前、4～6年生午後と時間を分けた。ちょうど6人ずつでバランスが良かったと感じる。 低学年はサンドウィッチ、高学年はクレープと作るものを変えた。どちらも包む具材は同じ種類から選んでもらい、そこに高学年は生地を焼くという作業を増やし違いをつけた。 具材は事前にアンケートを取り、一人一人の具材セットを用意し、食べる子どものみ触れるようにした。
4.5.6誕生会 集会 参加者数: 幼 児 3 名 小学生 5 名 中高生 1 名 母 親 2 名 職員・実習生・Vr 4 名 その他( ) 名 費用: 11,707 円	令和 4 年 6 月 24 日 (金) 18 時 0 分 ～ 18 時 30 分 場所: みつばち 〇交流の時間では紙飛行機を作って飛ばす遊びとした。紙飛行機を折れない児童も多く、考えでは紙飛行機を作って飛ばすのであれば密にならないと思っていたが作る際に集まってしまったりしていた。 〇ジュースの配布について、案を上げる時には29本と児童分取っていたので予定通り渡す。
中高席 工作行事③ 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 2 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他( ) 名 費用: 1,454 円	令和 4 年 6 月 26 日 (日) 13 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所: みつばち 中高生工作行事としてミサンガ作りを行なう。2名のみの参加だった。2名共に丁寧に制作しており、自分の物や、母へ渡す物を作成していた。母に渡す児童は母の好きそうな色の紐をチョイスし、制作している。出来る児童は何本も作っている。
小学生 農業体験 外出 参加者数: 幼 児 名 小学生 7 名 中高生 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他( ) 名 費用: 4,259 円	令和 4 年 7 月 4･6･8 日 (月水金) 19 時 0 分 ～ 19 時 30 分 場所: 2Fベランダ 苗をベランダのプランターに植えた。子どもと一緒に成長や経過を見ていく。今回は、ナス、トマト、きゅうりを植えた。朝に水を上げる時間を設定し、朝の登校がスムーズに行けること、負担にならないようにすること、行き渋りな子も水を上げることを一つのきっかけにできることをこれかも見ていく。 植えたり、水を上げたりすることは積極的に参加してくれていた。植えるのも上手だった。
中高生 工作行事④ 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 4 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 名 費用: 1,921 円	令和 4 年 7 月 17 日 (日) 13 時 30 分 ～ 16 時 0 分 場所: みつばち タイダイ染めをする。靴下を購入。アクリル絵の具で代用。まだらにできる方法を伝えつつ、あとは子どもの感性に任せた。思うようにいかなくても、失敗も受け止めつつ実験していた。アクリル絵の具は乾くと耐水性になるそうで、一度乾いて再度水洗いしたが色落ちは気にならなかった。洗剤を入れて洗濯すると多少影響あるかと思い、本人たちと保護者には留意として伝えた。
ちちんぷいぷい② 会食/配布 参加者数: 幼 児 17 名 小学生 11 名 中高生 6 名 母 親 23 名 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 名 費用: 200, 60 円	令和 4 年 7 月 15 日 (金) # 時 0 分 ～ 19 時 0 分 場所: 事務所/みつばち 戸田市商工会女性部の方4名が来荘しカレーライス、小松菜の和え物、ポテトサラダ、スープ、白米、フルーツゼリーを作って頂いた。 世帯数がサテライトも含めると23世帯と多く総勢60人の準備であったが事前に商工会の方とはやり取りをして実施した。コロナ感染症の状況を鑑みて年齢の近い4世帯9名の方にお声かけをし職員2名と食事会を開催した。カレーライスということもあり荘の玄関をあけて一歩荘内に入ると五感を刺激するようないい匂いが漂い利用児者ともにとても嬉しそうな様子であった。会食をされない世帯には事務所にてお渡しをしてそれぞれ食事をしてもらった。翌日には利用児者より「ありがとうございました。美味しかったです」との声を頂い

行事名/種類		実施日／概要
小学生 そうめん行事	集会	令和 4 年 7 月 18 日 （ 月 ） 10 時 45 分 ～ 13 時 30 分 場所:
参加者数: 幼 児 名 小学生 7 名 中高生 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他( ) 名 費用: 3,880 円		そうめん、キュウリ、ミニトマト、冷凍枝豆、寄付でいただいた牛丼の素、かき氷を提供した。残す子もいたが盛られた分は比較的食べてくれた印象。そうめんは多めにゆでており、大量に余ったため冷凍した。かき氷のシロップは、個包装のものが以前サミットに売っていたが閉店したことで他店では手に入らず。ボトルで味3種をそろえた。 ・午前のチームは低学年ということもあってか、設定時間より前から廊下に出ており、楽しみな気持ちが待てない行動につながっていた。
個別行事205	集会	令和 4 年 9 月 17 日 （ 土 ） 10 時 0 分 ～ 12 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 2 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 1,865 円		○買い物では社会スキルとして、側にはいるが選ぶこと、品もを探すことなどできるだけしてもらう。 ○作る場面でも自分たちでできるように見守ったり、あれしたい、これしたいとその場面での動きではどうしたらできるのか考えさせ、体験させた。○みつばちでやっていたこともあり、母などがのぞきに来たりと作っているところを見せたり、作った物を持って帰って母が食べてもらい、感想を聞き、「おいしいじゃん」とほめてもらうところも見ることができた。○担当と居室外でのかかわりを通しての関りを通し、好きなこと、要望があったことを継続的に行うことが本世帯には改めて必要と考える
中高生 工作行事⑤	集会	令和 4 年 8 月 21 日 （ 日 ） 11 時 30 分 ～ 13 時 0 分 場所:
参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 4 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 0 円		今回はそうめん、冷凍唐揚げ、枝豆、かき氷を一緒に食べ、お土産としてゼリーを配った。30分前に美浮香さんが来荘し、配膳や設営の手伝いをしてくれ、時間どおりに陸人、5分遅れで大輝と陽翔が来た。全員持ち物を忘れず持って来てくれ、スムーズに進められた。大輝と陽翔と陸人の男子3人は食べ終わるのが早く15分ほどで食べ終わっていた。
日帰り親子旅行	外出	令和 3 年 9 月 23 日 （ 金 ） 9 時 0 分 ～ 17 時 20 分 場所: 東武動物公園
参加者数: 幼 児 11 名 小学生 8 名 中高生 4 名 母 親 16 名 職員・実習生・Vr 7 名 計 39 名 費用: 552,486 円		東武動物公園（遊園地・動物園）にバス2台で日帰り旅行を行った。年齢が小さな子は動物園、学齢の大きな子は遊園地など、親子が自由に遊べるように終日利用できるパスを購入した。昼食は、園内のレストランでお弁当を用意し、集合で食べた。母と子一緒に遊ぶ親子、仲の良い世帯同士で行動する親子もいた。高学年の男児たちは、母とは別れて男性職員といっしょに遊園地の乗り物で遊ぶ姿も見られた。
7.8.9誕生日会	集会	令和 4 年 9 月 30 日 （ 金 ） 18 時 0 分 ～ 18 時 30 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 9 名 小学生 2 名 中高生 2 名 母 親 6 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他( ) 名 費用: 17,243 円		レクはボール移動でチーム戦で2つのグループに分かれて実施して。 今回は誕生者が12名と多く、参加者も多くなった。 ○興奮状態の児童がいたが職員がそばで付き添う。遊びに移動して、待っている際には他児をつねってしまう。「間違えてつねったと認め、謝る」つねられたところを後で確認を行なった。
中高生 工作行事⑥	集会	令和 4 年 9 月 18 日 （ 日 ） 13 時 30 分 ～ 15 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 3 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 1,938 円		晴れプランでは駐輪場でのBBQコンロを使っての焼き芋だったが雨だったため、雨プラン：みつばちでホットプレートを使って調理を行う。芋はレンジで熱しておき、ホットプレートの調理時間を短縮させた。○芋が焼ける間にマシュマロ焼きとポップコーンを作る。ポップコーンは焦げてしまった。マシュマロはホットプレートでも楽しくおいしく食べれた。焼き方もそれぞれ工夫しながら焼いていた。○サツマイモは少し固めだったがみんな食べてくれる。残りの半分は再度レンジをかけてた。食べられなかったものは持ち帰りした。○行事内で使用した皿を自分で洗ったりしてもらう。
個別行事205	外出	令和 4 年 10 月 16 日 （ 日 ） 9 時 0 分 ～ 12 時 30 分 場所: 浮間釣り堀公園
参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 1 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 1 名 その他( ) 名 費用: 2,500 円		・釣りをしたいとの要望を叶えることができ、釣り自体には1時間半ほどだったが長いと感じずに過ごすことができた。部屋でのゲームだけでなく、外で過ごすことでリフレッシュにもつながったと考える。
個別行事405	外出	令和 4 年 10 月 16 日 （ 日 ） 13 時 0 分 ～ 16 時 40 分 場所: トランポランド
参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 3 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 1 名 その他( ) 名 費用: 4,390 円		移動は自転車で向かい、危なげなく到着した。帰りの道中では少し遅くなった兄弟で様子を見たりしていた。会場内では1対2にでの行動が多かった。身体の使い方も陽翔は二人に比べてアクティブだった。順番待ちなども問題なくでき、使い方については回りに合わせることができていた。約束を守れずに、二人で飛んでしまう方も居たが、「ズルいなど」声をかけるような言葉はなかった。・会場での注意事項を確認しながら危ないことへの声掛けをしながら自分たちで判断できるように見守った。

行事名/種類		実施日／概要
ハロウィン行事	配布	令和　4 年　10 月　25 日　（ 月 ）　10 時　30 分　～　20 時　0 分　場所:
参加者数:　幼 児　名 小学生　名 中高生　名 母 親　名 職員・実習生・Vr　2　名 その他(　　)　名 費用:　6,200　円		①仮装…帽子とカチューシャ、ホウキ、置物、壁面を用意した。「Happy Halloween」の文字の壁面を今年新しく用意した。 ②おやつじゃんけん…事務所にいる職員が2名以上いる時に実施したため、24日からの予定を27日からに変更した。 ③本体・サテの利用児へお菓子詰め合わせ…31日にまとめて配布。サテライトには周知を忘れてしまい、事前の周知が必要だったと反省。サテライトは11月以降に連絡をし、ポストインや取りに来てもらった。
中高生 工作行事⑦	集会	令和　4 年　10 月　29 日　（ 土 ）　13 時　0 分　～　14 時　0 分　場所:　みつばち
参加者数:　幼 児　名 小学生　名 中高生　2　名 母 親　名 職員・実習生・Vr　2　名 その他(　　)　名 費用:　427　円		中高生工作行事として今回は児童の意見を取り入れフルーチェ作りを行う。 簡単に制作出来てしまう物だったので、手持ち無沙汰になることもあったが、会話をしたりしてすごし、家に持ち返る児童、その場で食べる児童がいた。また、必要な道具は準備しておき、パッケージの裏を見てどんな道具が必要で、どのくらいで出来るのか、自身で作るように促している。
七五三	配布・外出	令和　4 年　11 月　15 日　　/ 令和　4 年　11 月　21 日
参加者数:　幼 児　4　名 小学生　名 中高生　名 母 親　名 職員・実習生・Vr　名 その他(　　)　名 費用:　12,671　円		七五三お祝い対象児は、3歳女児1名・5歳男児3名であった。例年通り、ご厚意により、フォトランド様にて着付け・写真撮影、終了後、写真を台紙に入れプレゼントして頂いた。 また「成長のお祝い」として、全世帯にお赤飯・総菜の配布、また七五三対象児には、千歳あめをプレゼントした。
施設間交流	その他	令和　4 年　11 月　13 日　（ 日 ）　10 時　30 分　～　15 時　0 分　場所:　秋ヶ瀬公園
参加者数:　幼 児　名 小学生　7　名 中高生　3　名 母 親　名 職員・実習生・Vr　4　名 その他(　　)　名 費用:　23,537　円		3施設(かしのき荘、カーサ・ライラック、むつみ荘)合同の施設間交流を実施している。 大勢の参加者いて児童もにぎやかに競技に参加している。 事前打ち合わせや、会場の下見を行い、3施設で判断し、今回は運動会形式として各種競技を行い、得点を競っている。大きく点差が開くことがあったので、職員間で話し合い、調整し、児童のやる気を落とさないように配慮した。
中高生 工作行事⑧	集会	令和　4 年　11 月　27 日　（ 日 ）　13 時　0 分　～　16 時　0 分　場所:　みつばち
参加者数:　幼 児　名 小学生　名 中高生　2　名 母 親　名 職員・実習生・Vr　名 その他(　)　名 費用:　1,562　円		内容として3つ用意し、どれでも興味を持てたものを作ってもらうことにした。2人ともレジンでの制作を選択。ひとりは「MERRY XMAS」を作り、ひとりは猫がティーカップに入った型をシンプルにしあげてストラップにした。
冬至＆ちちんぷいぷい③	配布・集会	令和　4 年　12 月　23 日　（ 金 ）　18 時　30 分　～　19 時　30 分　場所:　みつばち
参加者数:　幼 児　15　名 小学生　13　名 中高生　4　名 母 親　21　名 職員・実習生・Vr　4　名 その他(　　)　名 費用:　25,422　円		日程が近かったため合同行事として行った。冬至として「かぼちゃの煮つけ」ちちんぷいぷいでは「焼うどん・手羽元と里芋・いんげんの煮物・ケールとベーコンの炒めもの・味噌汁」のメニューを提供した。みちばちでは、高齢児童世帯2世帯が食べ、子どもの年齢が近い世帯で食べたことで、感染対策に配慮しながらではあるが、母同士・子同士で話しながら楽しく会食出来た。他の世帯にはお弁当形式で配布した。また「ゆずバブ」も同時に配布。その際に、冬至の意味・かぼちゃを食べることやゆず湯に入る由来などの説明書もお渡しし、季節感・習わしを知る機会となった。
クリスマス会	集会	令和　4 年　12 月　11 日　（日 ）　10 時　30 分　～　12 時　20 分　場所:　第二複合施設集会室
参加者数:　幼 児　15　名 小学生　13　名 中高生　4　名 母 親　21　名 職員・実習生・Vr　12　名 その他(　　)　名 費用:　円		コロナ感染症に配慮した形で可能な限り会場内では家族ごとの着座に協力頂いた。あらかじめ、小学生以上の子どもには出し物をお願いしており職員と一緒にクイズで会場を盛り上げた。 また、プロのマジシャンを招いて利用者児が参加できるようなかたちでお願いをしとても盛り上がった。会食については事前に希望者を募り6世帯と会食を行っている。 会が終了後には各世帯サンタクロースがプレゼントを渡しに行き記念撮影をおこなった。 当日体調不良者もいて参加できない世帯があったのは残念ではあったが、全体行事が実施できてクリスマス衣装を着ている子どもも見られ笑い溢れる
10.11.12誕生日会	集会	令和　4 年　12 月　19 日　（ 月 ）　18 時　0 分　～　18 時　30 分　場所:　事務所
参加者数:　幼 児　名 小学生　名 中高生　名 母 親　名 職員・実習生・Vr　名 その他(　　)　名 費用:　6,327　円		今回は3名の誕生者、前回よりも少なかった。当日体調不調も合ったこともあり、誕生者がいないことが分かった。想定外もあったが、誕生者がいない場合には会の実施を行なわずに配布形式とした。

行事名/種類	実施日／概要
中高生 工作行事⑨ 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 2 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 330 円	令和 4 年 12 月 18 日 (日) 13 時 0 分 ～ 15 時 0 分 場所: 大輝・陽翔は当日外出、沙愛と莉奈はインターホンをしたが出なかった。 学童の冬休み工作と同様の工作だったため、材料費は安く抑えられた。 プラバンは1時間程度で完成したが、そのプラバンのついたスポンジとガラス瓶を付けるのに1日乾かす時間を要したため、1日では完成できなかった。なので1月の工作行事で続きを作る予定。 中学生でもグルーガンを使用する際は大人の目が必要と感じた。(二人ともグルーガンは使用したことがあるが、「火傷しそう」と恐怖心がある様子だった。)
中高生男子銭湯 外出 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 3 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 5,600 円	令和 4 年 12 月 25 日 (日) 15 時 10 分 ～ 17 時 10 分 場所: 彩香の湯 銭湯にて入浴指導も兼ねて中高生男子と職員で行事を実施 〇成長の確認と風呂の入り方の指導を大輝を中心に伝えることができた。また、銭湯のマナーもどうすべきなのかをその都度伝えることができた。 〇洗う時には大輝の様子を見たかったので隣に座ってもらい、髪の洗い方、体の洗い方の指導を行なった。泡立ちが不十分だったり、洗い残しがある時には声をかける等を行なった。
個別行事205 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 2 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 1,923 円	令和 4 年 12 月 26 日 (月) 13 時 0 分 ～ 15 時 0 分 場所: みつばち 職員と参加児童で買い物、予算を2000円とし、焼きそばの材料を選んだ後にプラスで楽しめるものとして、ウインナーとパン、ポテトを購入した。〇2000円内で1923円と金子が計算するが品物を選ぶのを児童が行なった。〇作る場面でも自分たちでできるように見守ったり、あれしたい、これしたいとその場面での動きではどうしたらできるのか考えさせ、体験させた。〇美味しく食べられるように補助を職員が行なった。〇食べて残ったものを母にと持って帰ってもらう。
小学生 正月遊び 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 2 名 中高生 2 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 2,728 円	令和 5 年 1 月 3 日 (火) 9 時 35 分 ～ 15 時 35 分 場所: 神社、第二複合施設 中高生と小学生で内容を分けた。短時間の行事であるが、“お正月らしいことをした”と学校などで他者に言える体験ができたと思う。中高生は午前中に初詣で和楽備神社へ。小学生は午後に、福笑いをし、おしるこを食べた。
もちつき大会 集会 参加者数: 幼 児 12 名 小学生 9 名 中高生 2 名 母 親 18 名 職員・実習生・Vr 12 名 その他( ) 名 費用: 29,995 円	令和 5 年 1 月 22 日 (日) 10 時 0 分 ～ 13 時 分 場所: 駐輪場/みつばち 防災訓練と合わせて実施。コロナ禍から数年ぶりの実施となり、現在の入所者は初めて参加する方が多かった。感染対策として職員がついた餅のみ提供、各世帯ごとに具材を分けて渡している。食事場所については世帯判断に任せた。子どもはもちつき体験ができて嬉しそうにしていた。餅の準備に追われ防災くんr念い参加できた職員がわずかだったので、対策を講じる必要がある。
個別行事301 外出 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 1 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 1 名 その他( ) 名 費用: 9,530 円	令和 5 年 1 月 8 日 (日) 10 時 0 分 ～ 16 時 20 分 場所: 新宿 〇昼食は本児に調べてもらったピザのお店で摂った。人気なのか営業前から並ぶ人が多かった。窯で焼いているためか美味しい。1枚のピザを3切れずつシェアし、追加でデザートを食べた。1時間ほど滞在。 〇犬cafeは1時間半滞在。おやつ効果が絶大で犬まみれになる。本児の膝を独占するチワワがおり、かわいがって撫でていた。その後は周辺散策としてディズニーストアを目指しながら、本児の要望で100均とｽｷﾝｹｱｼｮｯﾌﾟに立ち寄った。
中高生工作行事⑩ 集会 参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 2 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 667 円	令和 5 年 1 月 14 日 (土) 13 時 0 分 ～ 14 時 0 分 場所: みつばち 〇作ったスノードームはお持ち帰りいただき、居室などに飾ってもらうように伝える。クリスマスの装飾の一部のつもりだったが2人ともアニメのキャラクターを描いているのであまりクリスマス感はない仕上がりだった。
恵方巻 配布 参加者数: 幼 児 17 名 小学生 12 名 中高生 5 名 母 親 22 名 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 名 費用: 23,820 円	令和 4 年 2 月 3 日 ( ) 17 時 30 分 ～ 19 時 30 分 場所: 事務所 事前に恵方巻についての掲示を出しておき当日にお渡しをした。 縁起物という事で恵方巻についても由来を添えてお渡しをしている。母親には恵方巻、子どもにはサラダ巻を1本ずつお渡しをした。サテライト世帯には事前にお知らせをして当日に取りに来てもらった。

行事名/種類		実施日／概要
小学生 節分行事	集会	令和 5 年 2 月 3 日 （ 金 ） 18 時 0 分 ～ 19 時 0 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 名 小学生 5 名 中高生 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 3 名 その他( ) 名 費用: 1,057 円		節分行事として、豆まきと、厄除けのおりがみで柊鰯を制作する。 豆まき後年齢に近い数の豆を食し、制作に取り掛かる。制作は分担して高学年は難し物、低学年は簡単な物として、協力して一つの作品を男女で分けて制作している。 数日間柊鰯を事務所で飾り、他世帯からも高評価だった。
ちちんぷいぷい④	配布	令和 5 年 2 月 10 日 （ 金 ） 17 時 0 分 ～ 19 時 0 分 場所: 荘内
参加者数: 幼 児 17 名 小学生 12 名 中高生 5 名 母 親 19 名 職員・実習生・Vr 4 名 その他( ) 名 費用: 11,893 円		商工会の方が大雪の為、商工会の方が出向いての行事開催は中止となった。そのため職員のみで調理の実施を行った。メニューはカレーと和え物とスープ。カレーに唐揚げとウィンナーをトッピングにした。
ひな祭り	配布	令和 5 年 3 月 3 日 （ 金 ） 17 時 分 ～ 時 分 場所: 荘内
参加者数: 幼 児 14 名 小学生 11 名 中高生 5 名 母 親 21 名 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 名 費用: 10,033 円		お雛様は子担がみつばちに用意をし、写真撮影の掲示をしている。お雛祭りの案内は事前に掲示し周知した。当初予定していた冷凍食品が揃わず、急遽メニューを変えて対応した。母担それぞれに予定が入り、準備も入れ代わり立ち代わりとなったが、提供時間に間に合わすことはできた。酢飯を好まない世帯があり食することが出来なかったので、配慮が必要かもしれない。
1.2.3誕生日会	集会	令和 5 年 3 月 16 日 （ 月 ） 18 時 0 分 ～ 18 時 20 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 3 名 小学生 3 名 中高生 1 名 母 親 5 名 職員・実習生・Vr 5 名 その他( ) 名 費用: 円		誕生者は6人だったが参加は2人だった。ゲームとして、新聞紙で作った輪にいくつボールを入れられるかを個人対個人で競った。コツを掴んだ子はほとんど入れられ、大きく盛り上がった。誕生者には今後の抱負として頑張りたいことを聞いた。
小学生行事	集会	令和 5 年 3 月 # 日 （ 日 ） 13 時 30 分 ～ 16 時 0 分 場所: 第二複合施設
参加者数: 幼 児 名 小学生 3 名 中高生 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 978 円		雨予報であったこともあり、室内レクを行なった。ちょうど桜も咲いており、休憩で窓から花見も楽しめた。巨大ジェンガや風船バレーなど、日頃学校学童で遊んではいない内容を用意し、小集団でゆるりと楽しんだ。
中高生工作行事⑪	集会	令和 5 年 3 月 21 日 （ 火 ） 13 時 30 分 ～ 14 時 30 分 場所: みつばち
参加者数: 幼 児 名 小学生 名 中高生 3 名 母 親 名 職員・実習生・Vr 2 名 その他( ) 名 費用: 1,784 円		一度経験のあるメンバーだったため、思い思いにサクサク作っていった。小さいミニクッキーに描いていく。模様だったりキャラクターだったり、その場で思いついたことを表現していた。 チョコペンがよく活躍した。マグカップに入れてお湯で温めて使用。数種類のカラーで用意し、表現の幅を広げられるよう工夫した。

9. 職員研修・各種委員会

(1)職員研修

利用者の多様なニーズに対応し、質の高い支援サービスを効果的・効率的に提供するため、様々な研修機会を活用し、職員の資質向上を図った。

A. 施設内研修

外部講師を招いた対面での研修になるため、実施を見合わせた。

B. 施設内会議

職員間事例検討会(毎月の処遇会議)
職員会議(毎月の共有・伝達会議)
自立支援会議(毎月の進捗状況確認)

C. 施設間職員交流研修

10/12 埼玉県母子生活支援施設協議会 優良視察研修「母子生活支援施設くらき 特定妊婦」
10/28 カーサライラック施設内研修 淑徳大学 稲垣美加子教授講義 「自立支援」
11/13 施設間交流会「戸田市道満グリーンパーク デイキャンプ」 (県内4施設合同行事)
11/11 むつみ荘県外視察研修「母子生活支援施設リフレここのえ自立支援」(県内3施設合同視察)
1/31 カーサライラック施設内研修 立教大学 浅井春夫名誉教授講義 「性教育」
2/14 埼玉県母子生活支援施設協議会 実務研修会「戸田市メタバース教室による不登校支援」

D. 専門研修・キャリアアップ研修

7/7-8 関東ブロック母子生活支援施設協議会 施設長職員合同研修(施設長1名、職員1名)
7/12 埼玉県社会福祉協議会 「令和4年度感染症予防基礎研修」(オンライン 職員2名)
9/10-11 日本社会福祉士会「社会福祉士実習指導者研修」(オンライン 職員1名)
9/10 埼玉県社会福祉協議会 「スーパービジョン研修」(オンライン動画 職員2名)
10/1 埼玉県放課後学童保育連絡協議会「働きやすい職場を作るために」(職員1名)
10/17 埼玉県社会福祉協議会 「対人援助・相談援助研修:ﾅﾗﾃｨﾌﾞ・ｱﾌﾟﾛｰﾁ入門」(職員2名)
11/5 埼玉県社会福祉協議会 「個人情報保護研修」(職員1名)
11/8 全国母子生活支援施設研究協議会 「第65回全国研究大会」(職員1名)
11/14 埼玉県社会福祉協議会 「接遇研修」(オンライン 職員1名)
12/20 埼玉県社会福祉協議会「子どものﾈｯﾄ・ｹﾞｰﾑ依存の現状と対応」(オンライン 職員1名)
12/20 埼玉県「DV 被害者支援研修」(職員1名)

E. 防犯・不審者対応研修

コロナ禍のため、実施せず。

(2)各種委員会

多様なニーズに対応し、質の高い支援サービスを効果的・効率的に提供するため、ネットワーク構築を図った。

A. 母子生活支援施設協議会関係

埼玉県母子生活支援施設協議会　支援運営向上委員会(基幹的職員1名・少年指導員1名)
埼玉県母子生活支援施設協議会　施設長会議(施設長)
全国母子生活支援施設協議会　　役員会(施設長)

B. 地域団体委員会等

地域活動推進協議会　会議(施設長)
埼玉県児童福祉施設連絡会　会議(施設長)
埼玉県社会福祉協議会　役員会(施設長)
戸田市社会福祉協議会　役員会(施設長)
埼玉県共助会　役員会監査(施設長)
戸田ライオンズクラブ　セミナー(施設長)
埼玉県 DV 被害者支援計画策定会議(施設長)
戸田市社会福祉法人連絡会　幹事会(基幹的職員)

10. 視察関係

(1)視察実施場所及び参加職員数

視察実施年月日	視　察　場　所	参加職員数
R4. 10. 21	横浜市　くらき	3名
11. 11～12	八王子市　リフレここのえ	4名

(2)視察に来荘した機関名及び人数

視察来荘年月日	機　　関　　名	視 察 人 数
R4.　4. 27	埼玉県議会議員・戸田市議会議員	3名
5. 10	新宿区　かしわヴィレッジ	2名
8.　1	戸田市議会議員	6名
10.　7	明治乳業	2名
11. 29	秋田婦人ホーム	2名
12. 19	メリーアテック	1名

11. 外部への講師派遣

むつみ荘及び母子生活支援施設の役割と機能を広報する目的と、職員の資質を活用し、教育指導を担うものとして、外部団体及び学校等からの講師依頼に対して、今年度においても、下記の通り職員を派遣した。

実 施 日	場 所	内 容	派遣職員
R4.8.19	さいたま商工会議所	特定妊婦と母子生活支援施設について 妊娠SOS講師派遣	統括施設長
R4.7.3 R4.7.10	戸田市社会福祉協議会	学習支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ養成研修	基幹的職員
R4.12.2	戸田市社会福祉協議会	精神保健ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ養成研修	基幹的職員
R5.2.2	神奈川県社会福祉センター	神奈川県母子協議会研修	統括施設長

12. 防災訓練

火災・台風・水害に備え、通報・防火防災・避難訓練を行った。消火訓練は、状況に合わせ、小学生と母を一緒に行うなど臨機応変に行うことが出来た新型コロナウィルス感染状況が徐々に落ち着いてきたため、3 年ぶりに消防署員を招いての消火訓練が実施でき、また地域の防災訓練に参加できたことは有意義であった。職員緊急連絡網の改定を行う予定であったが、新システムの検討に留まった。次年度の課題である。

実施日	訓練概要	摘要
4・5月	担当者会議	防災訓練の目的を担当者で話合い、年間計画の実行案を整理し、担当職員の役割分担を行った。
4月28日	消火訓練	新入所1世帯に空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
5月25日	消火訓練	小学世帯母子を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
6月26日	消火訓練	高校生を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
6月27日	消防設備保守点検（駒崎商会）	災害時に備え、業者による消防設備に伴う一連の点検を行った。
7月10日	消火訓練	入所1世帯を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
7月11日	水害訓練	職員を対象に、内水氾濫の設定で、屋上への避難方法と避難経路を実際に確認をした。また各倉庫内の備品確認も行った。
8月13日	消火訓練	入所1世帯を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認と、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
9月10日	地域水害避難訓練	＊新曽北小学校で行われた訓練に、入所母子と職員が参加した　/ 防災ヘルメットを追加で居室に1つ配布。計2つ常備となった。
9月18日	消火訓練	中高生を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練と、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
9月28日	館内放送訓練	全世帯・職員を対象に、荘内放送での連絡訓練を行った。
10月21日	防災食の実食	利用者への食事提供の際に、災害用アルファ米・けんちん汁を提供し、防災食を食べる機会とした。
10月22日	消火訓練	入所1世帯を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練と、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
11月30日	消火訓練	入所母子を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認、不審者が来たときの館内放送や対処方法を確認した。
12月9日	消火訓練	入所世帯を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難経路の確認と、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
12月26日	消防設備保守点検（駒崎商会）	災害時に備え、業者による消防設備に伴う一連の点検を行った。
1月22日	消火通報訓練	入所全世帯・職員を対象に、消防署員を招いて水消火器を用いた消火訓練及び避難訓練を実施した。また職員は、通報訓練も行った。
2月1日	消火訓練	入所母子を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。
3月15日	消火訓練	小学生を対象に、空気消火器を用いた消火訓練及び避難訓練、不審者が来た時の館内放送や対処方法を確認した。

種別

火災	地震	水害	その他
13	2	2	4

延べ訓練回数
21 回

対象

全体	職員	母親	児童
2	6	12	10

延べ対象者人数
30 人

13. 保健衛生環境整備

今年度も、保健・衛生環境整備のため、毎月各居室の点検や年2回の定期健康診断などを行った。また昨年度に引き続き、新型コロナウィルス感染症流行に伴い、環境整備に努めた。以下、表参照のこと。

実施時期	実施項目	実施概要
5 月	害虫駆除 （殺虫剤配布）	利用者世帯にゴキブリキャップを配布。 その他、施設内の静養室・集会室・3 階キッチン・洗濯室・ショートステイ室にゴキブリキャップを配置
10月	インフルエンザ予防接種 （職員）	よつば保育園内、ほそあい内科クリニック（嘱託医）、または他院にてインフルエンザ予防接種を受けた（職員 11 名）
定期的なもの	・施設内外の清掃 ・年末大掃除（居室・館内） ・各階廊下の掃除 ・館内（居室含む）の排管清掃 ・定期健康診断（入所者） ・救急用品等の設置管理 ・施設内消毒（コロナ対策）	・毎月初めに、各居室の水周りを中心に掃除や整理整頓具合を点検。必要に応じて助言や清掃手伝いを行った。 館内年末大掃除と居室の排管清掃は、業者に依頼 ・定期健康診断は日程調整を行い、世帯ごとに嘱託医にて受診した（年2回） ・行事や緊急時に使用できるよう、救急用品を常備、静養室に設置し管理した ・玄関キー、ドアバー、事務所ドア等多くの人が触れる箇所の消毒を実施した
毎日行うもの	・各居室の衛生環境整備に関すること	・シルバー人材センターに依頼し、階段など共有スペースや玄関周り、玄関前道路、駐車場の清掃を平日に実施した ・土日は、上記箇所を職員が清掃をした ・各階利用者の当番制で共有廊下の清掃（モップ掛け）を毎日行った

【感染症対策】

通年
・昨年に引き続き ・館内共有部分と共有物品の定期消毒（1日3回以上）
・勤務入りの際、職員の検温、体調記入の実施
・荘内行事や学習会等の実施前に、職員と利用者の体調チェックと体温測定
・集会室の玩具を使用するごとにアルコール消毒
・来訪者に検温、健康管理表を記入してもらう
・玄関、事務所前、各階エレベーター前にアルコール消毒液を設置
・相談室消毒シートを配置し、消毒を実施
・相談室に、飛沫防止パーテーションを設置
・職員デスクを移動し、飛沫防止パーテーションを各デスクの間に設置
・事務所、集会室に設置してあるオゾン除菌空気清浄機を年中稼働させた
・除菌スプレー、除菌ジェル、不織布マスクを利用者に随時配布
・コロナ陽性者が発生した場合に必要な物品の確保
・緊急事態宣言発出や、コロナ陽性者が発生した場合のマニュアルの更新
・蔓延防止期間中など利用者への感染防止に関するお知らせの掲示
・母親懇談会ごとにコロナ感染防止対策についての周知
・除菌スプレー、除菌ジェル、不織布マスクを利用者に随時配布した
・複数人数が集まる場合は「マスク着用」「換気」「対人距離の確保」の徹底

職員
・厚生労働省や県市からの通知などをその都度周知して、感染防止に努めた
・特別休暇や有給休暇の取得方法、該当する保険等について再周知した。

14. 寄附及び招待事業受入

当年度もたくさんのご寄付・ご招待をいただいた。紙面を借りて深く感謝申しあげたい。

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
1	4月4日	石窯パン工房暖家	14個　サンドウィッチ、サラダ、ハンバーガー
2	4月5日	石窯パン工房暖家	14個　サンドウィッチ、サラダ、コーンパン、ハムチーズ
3	4月7日	石窯パン工房暖家	11個　ハンバーガー、コーンパン、コッペパン　他
4	4月16日	(株)ニチレイフーズ	むねから2箱/竜田揚げ2箱
5	4月18日	石窯パン工房暖家	16個　カレーパン、あんドーナツ、サラダ　他
6	4月19日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
7	4月20日	株)ユーグレナ	ユーグレナ31本セット×120個
8	4月20日	彩の国あんしんセーフティネット	ビーフカレー　20個
9	4月20日	石窯パン工房暖家	10個　サンドウィッチ、サラダ、コロッケパン　他
10	4月25日	株)ライオン	歯磨き粉40箱・マウスウォッシュ40箱・衣類洗剤40箱
11	4月25日	石窯パン工房暖家	13個　皿だ、サンドウィッチ、ハンバーガー　他
12	4月26日	一般社団法人バンクフォースマイルズ	化粧品・健康食品
13	4月26日	石窯パン工房暖家	14個　サラダ、さんどうぃっち、カレーパン　他
14	5月1日	戸田ロータリークラブ	洗剤、タオル他64セット
15	5月6日	資生堂社会福祉財団	ラ・ガナッシュ14個入り×25個
16	5月9日	石窯パン工房暖家	13個　サンドウィッチ、ハンバーガー　カレーパン他
17	5月10日	石窯パン工房暖家	10個　サンドイッチ、バーガー(Ｌ-Caféへ)
18	5月17日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
19	5月18日	石窯パン工房暖家	18個　サンドイッチ、フルーツサンド　他
20	5月19日	石窯パン工房暖家	12個　フルーツサンド、あんドーナツ　他(Ｌ-Caféへ)
21	5月21日	(株)ニチレイフーズ	そらまめ1箱/和風野菜1箱
22	5月23日	石窯パン工房暖家	13個　サンドイッチ、コーンサラダ、他
23	5月26日	石窯パン工房暖家	12個　サンドイッチ、コーンサラダ　他
24	5月31日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
25	5月31日	石窯パン工房暖家	多数　コーンパン、サンドイッチ、サラダ　他(Ｌ-Caféへ)
26	6月1日	石窯パン工房暖家	14個　コーンパン、サンドイッチ、トースト　他
27	6月10日	石窯パン工房暖家	14個　サンドイッチ、ハンバーガー、あんパン　他
28	6月13日	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ、バーガー、サラダ他12個
29	6月14日	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ、バーガー他13個
30	6月17日	糠山　小百合	幼児(80～110)絵本4冊
31	6月18日	(株)ニチレイフーズ	ソースカツ1箱/むねから2箱/えだまめ2箱/じゃが芋1箱
32	6月20日	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ、バーガー、フレンチトースト他17個
33	6月21日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
34	6月23日	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ、バーガー他11個(Ｌ-Caféへ)
35	6月28日	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ、サラダ、クリームパン他15個
36	6月30日	ロクシタンジャポン株式会社	化粧品セット60セット
37	6月30日	株式会社明治	子ども用飲料2箱
38	6月30日	株式会社クラシカルエルフ	女性春夏衣類多数
39	6月30日	石窯パン工房暖家	カレーパン、サンドウィッチ他18個(Ｌ-Caféへ)
40	7月1日	石窯パン工房暖家	サンドウィッチ、あんパン他15個

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
41	7月3日	木村　沙也香	女性夏衣類（トップス）9着、ボトム3着
42	7月4日	カゴメトマトケチャップ（戸田市経由）	ケチャップ1キロ×20袋
43	7月6日	坂口　久身江	男児用マスコット25個、女児用マスコット17個、トートバック22個ミニトート3個、巾着大小22個、ガーゼハンカチセット沢山　他
44	7月8日	セカンドハーベストジャパン	入所緊急便（食料1箱）
45	7月9日	坂口　久身江	マスコット人形1箱
46	7月14日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、あんドーナツ　他11個
47	7月16日	(株)ニチレイフーズ	むねから8×2合/カットほうれん草500g×20袋/塩味枝豆400g×20袋/コーン500g×20袋
48	7月20日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、あんパン　他　11個
49	7月21日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
50	7月26日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、コーンパン、他16個
51	7月29日	佐藤　恵　様	レトルトカレー、パスタレトルト、パックご飯、各種缶詰　他
52	8月1日	石窯パン工房暖家	バーガー　他　11個
53	8月2日	石窯パン工房暖家	あんドーナツ、サンドイッチ　他11個
54	8月15日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
55	8月16日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、クリームパン　他17個
56	8月18日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
57	8月20日	(株)ニチレイフーズ	イカリングフライ6個入り12×2/ちょびチキ500g×12袋/手羽から揚げ110g12個×2合
58	8月24日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、、ハンバーガー、つな、コロッケ　他13個
59	9月2日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、、あんドーナツ、サラダ、コーンパン　他15個
60	9月6日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、」、バーガー　他14個
61	9月7日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、、バーガー　他14個
62	9月17日	(株)ニチレイフーズ	特から8袋×2合/むねから8袋×2合/R香ばししょうゆから揚げ1k×6袋/揚げナス1k×10袋/香り枝豆250g×20×2箱
63	9月20日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、、あんぱん　他16個
64	9月29日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
65	9月29日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、、あんドーナツ、サラダ　他20個
66	9月30日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、、あんドーナツ
67	10月1日	商工会女性部	商工祭無料チケット40枚
68	10月7日	株式会社明治	紙パック飲料3種
69	10月12日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、、パンプキン新商品　他13個
70	10月20日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
71	10月23日	山崎　様	男児衣類
72	11月1日	株式会社コープクリーン	食器用洗剤2ケース、柔軟剤3ケース、ボディソープ
73	11月9日	ライオン株式会社	化粧品96本、アルコール48本
74	11月9日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、他11個
75	11月10日	株式会社明治	チーズ1箱、とろけるチーズ3箱、バター1箱、チョコクリーム1箱ピーナツクリーム1箱
76	11月11日	商工会女性部	米15キロ、ソース2本、リキュール3本他
77	11月15日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ドーナツ、スティックパンサラダ、バーガー計24個
78	11月16日	商工会女性部	フランクフルト6キロ
79	11月16日	石井紀美子	婦人用コート、スカート、パンツ、上着等
80	11月16日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ドーナッツ計12個
81	11月17日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
82	11月17日	戸田ロータリークラブ戸田西ロータリークラブ戸田イブニングロータリークラブ戸田ラウオッズクラブ北だ・わらび青年会議所戸田市商工合青年部	寄付金39,950円
83	11月19日	(株)ニチレイフーズ	むねから430g8×2×2箱/生姜鶏もも竜田揚げ1k×6袋×2箱チキンロール1300g×4袋/ブロッコリー500g×20/コーン20×2

番号	年月日	寄付者氏名	金額及び品物名
84	11月22日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、コーンパン計10個
85	11月24日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、サラダ、12個
86	11月25日	セカンドハーベストジャパン	入所緊急便（食料1箱）
87	11月30日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ハンバーガー、ドーナッツ10個
88	12月2日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ハンバーガー、ドーナッツ11個
89	12月6日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ハンバーガー、ドーナッツ、明太パン13個
90	12月12日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ハンバーガー、ドーナッツ、明太パン、サラダ、12個
91	12月13日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
92	12月14日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、コロッケパン、コーンパン計17個
93	12月15日	セカンドハーベストジャパン	入所緊急便（食料1箱）
94	12月15日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、コーンパン、ドーナッツ計11個
95	12月16日	株）クラシカルエルフ	婦人・子ども衣類23箱
96	12月16日	Dominoピザ（戸田笹目店）	Mサイズピザ21個
97	12月16日	石窯パン工房暖家	バーガー、コーンパン他　10個
98	12月17日	（株）ニチレイフーズ	フライドチキン4×2/里芋500g×20/ケール500g×20袋/塩味枝豆400g×20/いんげん500g×20
99	12月20日	埼玉県書店商業組合日本出版クラブ	図書30冊
100	12月21日	株式会社明治	乳飲料24個入り・チーズ、マーガリンなど詰め合わせ25セット
101	12月23日	一般社団法人バンクフォースマイルズ	化粧品詰め合わせ75セット
102	12月24日	ヤマト株式会社	冷凍ケーキ21個
103	1月4日	セカンドハーベストジャパン	入所緊急便（食料1箱）
104	1月10日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
105	1月10日	石窯パン工房暖家	バーガー、コーンパン他　15個
106	1月16日	石窯パン工房暖家	コーンパン、コロッケパン計15個
107	1月18日	株）クラシカルエルフ	衣類39箱
108	1月18日	石窯パン工房暖家	ガーリックパン、サンドイッチ、ドーナツ、ハンバーガー計15個
109	1月19日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、明太パン計13個
110	1月21日	（株）ニチレイフーズ	和風おかず6種12×2/アスパラ500g×20
111	2月7日	石窯パン工房暖家	コーンパン、サラダ、サンドイッチ計17個
112	2月8日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ツナパン、サラダ、ハンバーガー、揚げパン計18個
113	2月13日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ハンバーガー他15個
114	2月14日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
115	2月14日	石窯パン工房暖家	コロッケパン、サラダ、アンドーナツ計15個
116	2月16日	女性のスペース結	リプロトイレットペーパー1箱（100ロール）
117	2月18日	（株）ニチレイフーズ	香る生姜鶏もも竜田揚げ1k×6袋/きざみほうれん草500g×20
118	2月21日	株）ミューテーション	靴（スニーカー18足・サンダル14足）
119	3月6日	株）クラシカルエルフ	春物衣類9箱
120	3月13日	石窯パン工房暖家	サンドイッチ、ピザパン　計20個
121	3月14日	セカンドハーベストジャパン	食料・食材・飲料・お菓子他
122	3月18日	坂口　久身江・三浦ひとみ	新入学用品（補助バック、靴袋、給食着入れ、コップ袋）×3組
123	3月20日	株）コープクリーン	口紅3種類、ハンドクリーム、リンクルクリーム、携帯用基礎化粧品等
124	3月29日	セカンドハーベストジャパン	入所緊急便（食料1箱）

15. 母親懇談会

母親懇談会は、職員からの連絡事項を伝え、利用者からの要望や意見を聞く会合である。生活環境改善や子育てについての意見交換をする機会ともなっている。小中学生行事・学習会などについて伝える機会としても活用した。

実 施 日	出席者数		議　題	保 育
第 113 回 R4 年 7 月 22 日(金)	母親 12 人 職員 2 人	1 2 3 4 5 6 7 8	新しい利用者さんの紹介 職員の退職について 施設行事について 地域の行事 夜間対応について 実習生の受け入れについて ゴミ出しについて 安全月間 ＜付録＞夏の季節の注意事項 夏休みの過ごし方(小学生用) 防災≪水害≫について コロナ感染症、子どものマスク着用について	10 人 ――― 職員 3 人
第 114 回 R4 年 12 月 2 日(金)	母親 11 人 職員 3 人	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	届出用紙のお願い 事務所の職員体制について 年末大掃除(12 月の居室点検) 清掃について 実習生について みんなの行事 消防設備点検について ゴミの分別について 玄関暗証番号について みつばち利用について ＜付録＞感染症対策 みつばち利用スケジュール 冬休みの過ごし方(小学生用) サンタプロジェクトにいついて 利用者のしおり差し替え～情報保護～	8 人 ――― 職員 3 人
第 115 回 R5 年 3 月 23 日(木)	母親 10 人 職員 3 人	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	新しい利用者の紹介 共益費と積立金について 馬場町会役員について 外泊・外出・来客について 防犯について 建物検査について マスク着用について 玄関の暗証番号変更 令和 5 年度年間行事について 要望等解決委員会 ＜付録＞春休みの過ごし方	9 人 ――― 職員 3 人
計　3 回	計33人			計 27 人

16. 実習受入状況

福祉人財及び後進の育成という社会的責務を担い実践するべく、コロナ禍の今年度においても、大学院、大学、短大及び各養成校から実習生の受入を行った。実習期間は資格によって異なり、保育士は１日８時間を 10 日間～12 日間、社会福祉士は１日８時間を８日間～1 か月、公認心理師は１日２～4 時間を約１日～20 日間程度で受入れ期間を設けた（日曜祝日は実習期間に含まず）。

なお、本年度も新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、体調管理に関して実習生や養成校と連携し、安全に配慮した実習受け入れを行った。

実 習 期 間			養 成 校 名	取得資格名
開始	開始開始～終了終了	【日数日	学校名	区分
令和4年	4月1日(金)～4月11日(月)	【10日間】	越谷保育専門学校	保育士
	4月15日(金)～9月16日(金)	【14日間】	大正大学院	公認心理師
	4月15日(金)～4月28日(木)	【13日間】	埼玉県立大学	保育士
	5月9日(月)～5月24日(火)	【15日間】	日本児童教育専門学校	保育士
	6月1日(水)～6月27日(月)	【26日間】	日本福祉教育専門学校	社会福祉士
	6月2日(木)～9月29日(木)	【17日間】	大正大学	公認心理師
	6月4日(土)～9月24日(土)	【17日間】	大正大学	公認心理師
	6月4日(土)～7月30日(土)	【5日間】	早稲田大学	公認心理師
	6月6日(月)～6月16日(木)	【10日間】	文京学院大学	保育士
	6月11日(土)～8月20日(土)	【6日間】	早稲田大学院	公認心理師
	6月14日(火)～11月29日(火)	【19日間】	早稲田大学院	公認心理師
	7月26日(火)～9月6日(火)	【6日間】	早稲田大学	公認心理師
	8月1日(月)～8月18日(木)	【17日間】	淑徳大学	社会福祉士
	8月19日(金)～9月17日(土)	【29日間】	文京学院大学	社会福祉士
	8月22日(月)～9月3日(土)	【12日間】	東京家政短期大学(板橋)	保育士
	9月5日(月)～9月17日(土)	【12日間】	東洋大学	保育士
	9月19日(月)～10月5日(水)	【16日間】	立正大学	社会福祉士
	10月4日(火)～3月14日(火)	【23日間】	東京成徳大学院	公認心理師
	10月5日(水)～3月13日(月)	【23日間】	東京成徳大学院	公認心理師
	10月6日(木)～1月26日(木)	【14日間】	大正大学	公認心理師
	10月7日(金)～3月10日(金)	【20日間】	大正大学	公認心理師
	11月7日(月)～11月19日(土)	【12日間】	浦和大学	保育士
令和5年	1月16日(月)～1月30日(月)	【14日間】	東京家政大学(狭山)	保育士
	2月1日(水)～2月11日(土)	【10日間】	十文字大学	社会福祉士
	2月13日(月)～2月25日(土)	【12日間】	埼玉県立大学	保育士
	3月1日(水)～3月11日(土)	【10日間】	越谷保育専門学校	保育士

保育士　10 名
社会福祉士　5 名
公認心理師　11 名（院生：5名、学部生：6名）

実習生延べ　26 名（見学講義は含まず）

17. 利用問合せ状況

母子生活支援施設利用希望者及び福祉事務所等関係機関からの問合わせについて、集計した。なお、当事者からの直接の相談には、施設利用の仕方から窓口の紹介まで丁寧に対応し、他の相談機関につながりやすくなるよう配慮した。

受付日時	受付日時	問合種別	世帯種別	児童種別	回答種別
令和4年	5月2日(月)	空室	DV	幼児	調査票送付依頼
	5月9日(月)	入所手続き	DV	小学生	調査票送付依頼
	5月11日(水)	空室	DV	幼児	
	5月12日(木)	居室内容問合せ			
	5月20日(金)	空室	既婚		
	6月2日(木)	空室・見学	DV		
	6月14日(火)	受入れ検討	DV	妊婦・幼児	
	6月22日(水)	空室	DV	乳幼児	
	6月23日(木)	見学	DV	乳児	
	6月30日(木)	空室・入所手続き	DV		満室と回答
	7月12日(火)	空室	DV		満室と回答
	7月12日(火)	空室	DV		満室と回答
	8月10日(水)	空室	DV	小学生	
	8月22日(月)	空室	DV・避難	小中学生	
	8月26日(金)	空室・入所手続き	DV	小学生・幼児	
	9月20日(火)	空室・入所手続き	DV	小学生・幼児	
	10月5日(水)	空室	DV		
	10月6日(木)	空室	DV	妊婦	
	10月14日(金)	空室			
	10月17日(月)	入所手続き			役所相談促し
	11月4日(金)	空室	DV		
	11月8日(火)	空室・見学	DV	小学生	見学受付
	11月24日(木)	空室	DV		
	11月24日(木)	空室	DV		
	12月1日(木)	空室	DV		
	12月7日(水)	事業確認			
	12月21日(水)	空室	DV		
令和5年	1月5日(木)	見学			
	1月10日(火)	空室	DV	乳幼児	間取りが生活困難
	5月10日(水)	空室・見学	DV	幼児・小中学生	見学予定
	2月17日(金)	入所手続き	DV	小学生・乳幼児	他施設紹介
	2月21日(火)	入所手続き	DV	幼児	
	3月2日(木)	空室			
	3月8日(水)	空室	DV	小学生・幼児	
	3月15日(水)	空室	DV	幼児	
	3月17日(金)	空室			
	3月24日(金)	入所手続き	DV	小学生・幼児・妊婦	

延べ問合せ件数　35 件

(一部集計)

DV	29 件
入所手続き	8 件
妊婦	3 件

18. 地域交流及び協力実績報告

「子育て支援・経済的困窮者支援・災害派遣等」については、施設の持っている機能を活用することを考え、関係機関等と連携を図り地域に貢献できる施設作りを促進している。

実施月	名称・団体名	内　　容	備　考
通年	子ども110番の家	小学生等下校途中の児童のトイレ利用に施設を開放	
	戸田ライオンズクラブ	奉仕活動及び連携	
R4. 4. 26	こどもの居場所交流会		
5. 12	共助会監査		
30	共助会理事会		
6. 15	県社協役員会		
22	福)由慎会理事会		
24	共助会総会		
7. 26	戸田市児童福祉審議会		
30	こどもの居場所セミナー		
8.　5	蕨市地域自立支援協議会		
17	県福祉大会運営委員会		
9. 29	戸田市児童福祉審議会		
10.　8	福)由慎会理事会		
11.　2	県福祉大会		
4	社会貢献運営委員会		
11	ウクライナ交流事業		
16	こども食堂フォーラム		
17	こどもの居場所セミナー		
29	県社協役員会		
R5. 1. 10	社会貢献運営委員会		
2. 13	こども居場所セミナー		
20	社会貢献運営委員会		
21	戸田市法人設立連絡会		
3. 13	共助会役員会		
17	福)由慎会理事会		
3. 20	DV連携会議		
24	県社協役員会		
27	戸田市児童福祉審議会		
28	市社協役員会		

19. 事故報告・苦情解決

事故への適切な対応と改善は、利用者の安心安全のためには重要である。また、利用者や近隣から、むつみ荘の取り組みに対して、さまざまな意見を言える機会が大切である。むつみ荘では、要望箱、子ども相談箱、母親懇談会、苦情要望解決委員、第三者委員などを通じて、意見の言いやすい場を目指している。

【苦情解決】

今年度は、利用者児からの苦情相談（要望箱）は無かった。

【事故分析】

10/28　事故等検討会

過去の事故・ヒヤリハット等を分類し、職員間で共有した。改めて事故と再分類された案件に関しては、改めて事故報告書を作成するように指示した。次回の事故等検討会において、「対応策」「予防」「予測不能」等に分類し、内容を検討する。

3. 第二種社会福祉事業　むつみ荘児童一時預かり事業

（一時預かり保育室たんぽぽルーム）

令和４年度　事業報告

前年度に引き続き市役所からの協力を得ながら、一時預かり保育事業周知のために公共施設へのチラシ配布や、保育士が子ども達と散歩へ出掛けた際に地域の保護者へチラシ配布を実施した。前年度からの継続利用の方や新規登録者には子育て中の友人や知人にチラシを渡していただけるよう呼びかけを行った。ホームページを見ての問い合わせも多く、結果として今年度も新たな登録・利用に繋げることができた。電話受付や一時預かり保育登録へ訪れた保護者の相談に応じて、子ども達の発育・発達の支援・ニーズに応じた保育を実施した。

預かり理由としては、就労・姉兄の学校・幼稚園行事への参加・習い事・リフレッシュ・通院、登園できない子どもの保育や保育園への入園による慣らし保育等を受け入れた。また幼稚園の休園時には母の就労支援のための長時間保育も行った。様々な利用理由に対応しながら、保護者へ子どもの様子についても可能な限り伝え、安心・安全に配慮しながら室内や屋外で保育を実施した。

登録面談の際には、子どもの日頃の様子や食事・アレルギー・睡眠時の様子など細かく聞き取り、保護者が一時預かり保育について正しく理解していただいた上で利用していただけるよう心掛けた。

食事面では保護者の負担軽減を考慮し、希望者には保育園と同様の給食を実施した。色々な食材を体験すること、栄養バランスを十分に確保し、楽しい雰囲気の中で食事指導にも力を入れ、スプーン・フォークの使い方を覚えていくことや咀嚼等も取り組んだ。アレルギー除去食、離乳食の場合は引き続き弁当での対応を保護者に説明しお願いをした。また水分補給に関しては、子どもの健康・安全のバロメーターのため、その子の必要性に応じて摂取を心掛けた。午睡においては安全面を十分に考慮し、ブレスチェック・視診等を行った。誕生日やクリスマス、退園児へは製作プレゼントも用意してお渡しした。

今年度は、新型コロナウィルスの影響により、蔓延防止期間中は蜜を避けて保育者１人に対して保育児１人の保育を基本として行った。昨年同様保育の都度「健康チェックシート」を活用し子どもの体調確認、換気の徹底、食事場面では距離の確保等可能な限りの感染防止対策に取り組んだ。

ショートステイでは受け入れた子どものニーズに合わせ保育所・幼稚園送迎や日中の保育を行った。

引き続き、安心・安全に配慮しながらより家庭に近い環境のなかで預かり保育ができるよう心掛けていきたい。

【利用実績】

令和5年3月31日現在

区分		買い物・美容院等		傷病等での通院		習い事（自動車・パソコン）		就労（一般的な仕事）		リフレッシュ		地域活動（公民館活動等）		学校・幼稚園等の公的行事への参加		その他		合計	
年	性	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間	人員	時間
1歳	男	1	3.5	5	14.5	12	48.0			2	9.0					3	6.0	23	81.0
	女	1	5.0	6	22.5					3	17.0							10	44.5
2歳	男			2	5.0			39	274.5	11	70.5			2	4.0	3	10.0	57	364.0
	女			1	1.5									2	14.0	1	0.5	4	16.0
3歳	男							2	7.5									2	7.5
	女									8	44.5			2	11.5	3	14.5	13	70.5
4歳	男													1	2.0			1	2.0
	女															1	2.0	1	2.0
5歳	男																		
	女									1	1.5							1	1.5
6歳	男																		
	女																		
学童	男																		
	女																		
合計		2	8.5	14	43.5	12	48.0	41	282.0	25	142.5	0	0.0	7	31.5	11	33.0	112	589.0

総合	112 名
	589 時間

実人数	49	名

4. 第二種社会福祉事業　子育て短期支援事業

令和４年度　事業報告

1. トワイライトステイ事業

小学1年生から6年生の児童を養育している家庭の保護者が、仕事等の理由に学童の迎えが間に合わない場合に、児童を午後5時から午後9時30分まで市が委託したむつみ会にて有料でお預かりする事業である。

今年度は市内の小学校2校 5 名の登録があり、学年としては1～3年生。主な利用理由は就労であった。年間の利用人数は509 人であり、週3～5日の頻度で毎月利用があった。

今年度は4～5名の職員で日替わりにて保育を行なった。午後5時に迎えに出発し、ピックアップしたのち夕食の買い物をする。夕食購入は、子どもたち自身の選択を尊重しつつ金額の上限を伝え、食べきれるかも含めて考えてもらえるよう促しをする。施設に着いたら検温・手洗いをし宿題の残りを済ませ、午後6時半を夕食とし、以降は遊んで保護者の迎えを待った。

『児童健康状況届』を用いて、保護者から聞き取れた児童の様子を把握し家庭に近い雰囲気で利用することが出来るよう配慮した。また、好き嫌い・既往歴・アレルギーなど個々の児童に関わる体調面等について常時確認ができるよう工夫し、安全に過ごせるよう整えた。

令和4年度　　トワイライト実績表（内訳）

令和5年3月31日　現在

学年	男女別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一年生	女													0
	男	13	21	20	13	10	17	23	25	21	19	24	23	229
二年生	女	0	0	8	12	11	12	9	12	10	7	11	10	102
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三年生	女	12	17	18	11	6	14	19	20	16	14	18	13	178
	男													0
四年生	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五年生	女													0
	男													0
六年生	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計人数		25	38	46	36	27	43	51	57	47	40	53	46	509

総計	509　　名

2. ショートステイ事業

本事業は、戸田市及び川口市の子育て短期支援事業の一環として実施するものである。

利用要件： 3歳児～小学校6年生の子ども（特例として3歳未満児も含む）かつ，保護者が下記の場合
（1）疾病・出産・けが等により入院・加療又は療養を要する場合
（2）出産・看病・事故・災害・失踪等家庭養育上の事由がある場合
（3）冠婚葬祭・出張・学校等の公的行事に出席等社会的な事由がある場合
（4）育児疲れ・慢性疾患児の看病疲れ・育児不安等の身体上又は精神上の　事由がある場合
（5）就業のため、帰宅が夜間に及ぶ場合
（6）経済的問題等により緊急一時的に母子保護を必要とする場合
（7）市長が特に利用を必要と認めた場合

今年度は、12名（10 世帯、戸田市７世帯９人、川口市３世帯３人）の利用があり、利用日は延べ 68 日であった。利用理由は「母親の入院」（3 世帯、ともに母子家庭、戸田市３世帯、24 日）、「育児疲れ」（7 世帯、1 世帯は両親世帯、6 世帯は母子家庭、戸田市４世帯・川口市３世帯、延べ 44 日）であった。また見学のみとどまった世帯は４世帯（戸田市1世帯、川口市3世帯）あった。

今年度の大きな特徴として、利用児童が全て男児という点である。男児は、動きの激しさや発達の偏りが出やすさなど、一般的な傾向と合わせて考えると、入院利用は別としても、育児疲れでは、その影響が顕著に出ていると考えられる。また新型コロナ感染症が収束に向かいつつあることが影響しているのか、昨年度に比べ利用人数が増加した。

更に、受け入れ体制の面で考えると、有償ボランティアの活用をすすめており、今年度は新たに１名新しく登録いただいた。児童の初回利用の際は職員が宿泊しアセスメントを行い、２回目以降の利用からボランティアに宿泊をしていただき、職員がフォローに入る体制を整えた。ボランティアの方には急な依頼になるため、可能な日程の中で宿泊して貰った。不定期の依頼になるため、調整がつきづらいことも多かったが、 6日宿泊いただいた。今後は更にボランティア開拓をすすめていきたい。

次年度も様々な家庭背景のある児童の利用があると思われるが、戸田市・川口市と連携を行い、臨機応変に、より良い支援が提供できる事業を行なっていきたい。

令和４年度　ショートステイ実施状況（延べ人数）

令和5年3月31日現在

保育理由	年齢	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
入院・通院	3歳未満	男													0
		女													0
	3歳～5歳	男		1	3								2		6
		女													0
	小1～小3	男			14								2	6	22
		女													0
	小4～小6	男			14										14
		女													0
家庭養育上の事由（事故・災害等）		男													0
		女													0
社会的な事由（冠婚葬祭等）		男													0
		女													0
育児疲れ		男	3	8	2	4	2		3		2			2	26
		女													0
就業		男													0
		女													0
緊急一時		男													0
		女													0
その他		男													0
		女													0
小計		男	3	9	33	4	2	0	3	0	2	0	4	8	68
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			3	9	33	4	2	0	3	0	2	0	4	8	68

延べ	68 名

5. 第二種社会福祉事業　よつば保育園

令和4年度　事業報告

1. 総括

昨年度も、次々に新型コロナウィルス感染症が猛威を振るい、ついに陽性者が出現、何度かクラス内で感染者も増え、家族間での感染も後を絶たなかった。

乳児組では、マスクをしておらず、濃厚接触者として園を休んでいただく事になる為、保護者の負担を考え、職員体制の許す限り合同保育を減らし、濃厚接触者を少なくする努力を試みた。

開園以来の保育理念に基づき、子ども達に対して一人ひとりの思いを大切に丁寧に受けとめ保育することを心掛け、また保護者に対しては、信頼関係の構築に努め保育内容を丁寧に伝達し、子どもたちの育ちへの協働を図ってきた。

こうした状況においても当園の保育目標である

1. 心身すこやかなこども　　2. 豊かな感性や創造性をもった子ども
3. 自分で考え行動できる子ども　4. 思いやりのあるやさしい子ども

の4つの願いをもって、子どもたちの「個」の育ちと「集団」の育ちに目を向けながら、生活や発達の連続性を大切にした保育内容、あり方を意識しながら保育支援に取り組んできた。

新型コロナウィルス感染症の拡大を受け、新たな生活様式に則った日常が求められ、保育現場においてもそのことを意識した環境構成や保育内容を模索しながらの1年であったように思う。

行事の行い方も、密を避け、感染症対策を講じたうえで、子ども達の日常がもぎ取られることのないよう、職員一丸となって、検討を重ねながら行事の一つ一つを進めていった。

園外研修は、PCを用いたオンライン研修を行い、新たな研修様式で学びの機会を得た。

令和5年度は、5月8日を境にインフルエンザと同様、5類の扱いとなる事から、今後の保育活動に支障をきたすこともあると思われるが、新型コロナウィルス発症前の保育活動に一日も早く戻すことを念頭に置き、全園児と保護者にとって、最善の保育を提供する地域に選ばれる保育園を職員と共に目指していきたい。

令和5年4月1日

よつば保育園

園長　矢沢　利恵

2. 振り返り

（1）保育の資質向上

・子どもひとり一人の感性を豊かに育み保てるよう、子どもの感じ方や考えを受容してきた。
・子どもに対して、一方的に保育者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、保育の中心は、子どもが主体であるという認識のもと、園生活を送りやすい環境を整えた。
・年齢の異なる子ども達とのコーナー保育は、新型コロナウィルス感染症の新しい生活様式を考慮し、例年通りの提供を果たす事は難しかったが、気候が秋を迎え涼しくなった頃から、幼児組のマスク生活を定着出来るようになってきた4、5歳児のみコーナー保育の提供を導入できた。
・乳児に対しては一人ひとりの発達をふまえ、個の成長段階を意識し大切にしながら、丁寧にゆっくり、ゆったりとした保育を実践してきた。

（2）職員の資質向上

・子どもたちひとり一人をしっかりと理解することに務め、気になることなどは、園内研修（ケース検討会議）などの場において全員で考えることができた。
・関係機関等との連携も深め、情報交換の機会を設けるなど積極的に取り組めた。
・専門性を高めるため、自らの人間性や社会性、専門職としての向上に努め、自己研鑽に努めた。
・子どもの性差や個人差、個性を肯定し、そのことに留意して保育の実践に努めた。

（3）職員の協力体制

・保育園全体をひとつのクラスと捉え、全ての子どもに目を向け、一人ひとりの子どもの状況などについて職員間で共有化するように努めた。
・それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあい、助け合うことができた。
・職員それぞれの思いを受け止め、信頼関係のもと保育実践が展開できた。
・積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかかわりを一緒に見出していくことができた。

（4）子ども目線の環境づくり

・保育園全体をひとつのクラスと捉え、全ての子どもに目を向け、ひとり一人の子どもの状況などについて職員間で共有化するように努めた。
・それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあい、助け合うことができた。
・職員それぞれの思いを受け止め、信頼関係のもと保育実践が展開できた。
・積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかかわりを一緒に見出していくことができた。

（5）　保護者との関係づくり

・保護者の家庭状況、家庭環境を十分に理解し、日ごろから子どもの様子を伝え、家庭での様子を聞くなどして、保護者の思いを受け止め信頼関係の構築に努めた
・保護者面談等で保護者と話す中で、子育てについて情報交換し共有しあいながら、保育に生かすよう努めた
・新型コロナウィルス感染症の影響により園内への立ち入り制限をしたことで、園内の様子や子ども達の様子が伝わりづらくならないよう、写真や動画などを用いて掲示や DVD 販売などを通じた情報発信にも務めた

（6）　保護者意見の反映

・保護者からの意見・要望などについては実現に努めるとともに、実現の可否に係わらず　その対応について説明を行った。
・運動会や発表会など、保護者の方々にアンケート調査を実施し、集計結果を公開しその後の行事の参考にした。
・要望箱設置　本年度は運動会行事の際の、入場人数について、通常通りに制限を緩めて頂きたいとのご意見を頂き、検討の上、保護者1名から保護者2名のまでの条件変更を行った。
・発表会においては新曽福祉センターを利用し、入場いただけなかった祖父母の方や、兄弟児の来場ができるよう工夫をした。

（7）給食に対する取組

・年間食育計画に基づいた取組の実施【野菜の栽培】
・アレルギー児毎に対応した給食メニューの提供だけでなく、アレルギー児とアレルギーのない園児が　同給食を食べられる様給食室と共に検討を重ねた。
・食育事業として、魚の解体を行い、食への感謝と命の大切さを感じた。
・子どもクッキングを再開した。
・授乳・離乳の支援ガイドを基本とした離乳食の提供。
・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応。
・ご当地グルメの旅を通じ、社会文化や風習・風土の学びと食材への興味・関心力向上。

3. 年間利用児数（各月１日現在在籍数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
こつぼみ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
つぼみ	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	92
すずらん	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	130
ひなげし	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	9	8	125
れんげ	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	125
ひまわり	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	99
合計	**52**	**53**	**53**	**53**	**54**	**54**	**54**	**55**	**54**	**55**	**54**	**52**	**643**

4. 職種別職員数（年度末日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常勤職員	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
非常勤職員	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	45
派遣職員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
嘱託医	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	**19**	**19**	**19**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**237**

5. 組織体制等

園長１名　主任保育士１名　副主任保育士１名　保育士14名　看護師１名
嘱託医２名　栄養士及び調理員3名（業務委託）

6. 勤務体制、時間等

・早　番　7:00～16:00　　・早２番　8:00～17:00
・普通番　8:30～17:30　　・中　番　9:00～18:00
・中2番　9:30～18:30
・遅　番　10:00～19:00　又は　11:00～20:00

7. 職員研修実施内容

別紙のとおり

8. 年間行事実施内容

別紙のとおり

9. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙のとおり

今年度も4、5歳児を対象に口腔衛生向上のため、フッ化物洗口（毎日法に変更）を実施

厨房内の害虫駆除を業者に依頼し通年実施

厨房内清掃を業者に依頼し実施

10. 設備、備品、遊具等の充実内容

・R4新型コロナウィルス感染症対策特別補助金を利用し、室内遊具を購入した。

・施設強化推進費で、長期保存食品や非常用子どもトイレを購入した。

11. 建物等修理・修繕実施内容

・園庭滑り台の階段部分木部の劣化の為、改修実施

・園庭の不審者侵入予防の為と、幼児の死角を無くすために、カーブミラーを設置

・保育園と民家の間の敷地の防犯対策と収納スペース確保のため、裏敷地整備

・保育室木製扉開閉困難の為、部品交換による修繕及び調整を実施

・厨房機器の不具合箇所等について保守点検業者による修繕の実施

・洗濯室の汚水槽、水洗レバーの破損に伴う修繕の実施

・保育室の空調設備が劣化したため、エアコン修理を実施

・R4新型コロナ感染症対策特別補助金を利用し、各種改修

① 園児手洗い・病児保育室手洗いを自動水洗蛇口に改修

② 男児立ち便器を自動水洗に改修

③ 保育室網戸改修及び排煙窓の網戸

④ 事務所・相談室の抗菌フロアマット改修

⑤ 病児保育室のエアコン改修

12. その他

・幼児組＝英語教室　講師の英会話に元気に参加。

・リトミック教室＝リズム感や敏捷性、表現力の向上などを目的に月に1回指導あり。

・体操教室＝運動能力の向上や体幹を鍛え、集団ルールの習得などを目的に月1、2回指導あり。

・個別心理対応＝対象児の情緒的安定や自己肯定感の向上などを図るため、むつみ荘心理士と連携をとり個別心理対応を実施。また、対象の園児の母とも数回の面談を持ち、母の相談にも応じた。

＜別紙＞

月	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容
4月	1日 26日 28日	入園式 年長お弁当遠足 誕生会	各クラス	保育室内の環境整備	各クラス 21日	避難訓練(防災備品の確認) 防犯訓練(主活動中に不審者)	1~10日 5日 6日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	5日 21日	職員会議 給食会議
5月	17~26 26日	クラス懇談会 誕生会	各クラス	園内の危険個所の 発見・改善	各クラス 24日	避難訓練(地震の際の避難場所を子どもたちと確認) 防犯訓練(送迎時間に不審者)	1~10日 2日 6日 30日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定 園児内科検診(ほそあい内科)	10日 20日	職員会議 給食会議
6月	23日 28日 30日	4・5歳児クッキング 水遊び集会 誕生会	21日	AEDの使用・心肺蘇生	9日 各クラス	避難訓練(大雨による浸水) 防犯訓練(散歩中に不審者)	1~10日 1日 2日 13日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定 歯科検診(戸田サクラ歯科)	9日 16日 23日	職員会議 リーダー会議 給食会議
7月	7日 14日 28日	七夕集会 おしりの拭き方集会 誕生会	7日	運動指導・補助	14日 21日	避難訓練(主活動中に地震) 防犯訓練(事務所職員不在時に不審者)	1~10日 5日 6日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	9日 12日 21日	職員会議 リーダー会議 給食会議
8月	3日 4日 25日	とうもろこしの皮むき 夏祭り 誕生会	-	職員不足のため実施できず	10日 25日	避難訓練(保育中に火災) 防犯訓練(水遊び中に不審者)	1~10日 2日 3日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	9日 12日 24日	職員会議 リーダー会議 給食会議
9月	8日 14日 29日	水遊び納め集会 4・5歳児クッキング 誕生会	22日	応急処置	1日 21日	避難訓練(主活動中に地震) 防犯訓練(不審者が複数人いた際の対応)	1~10日 6日 7日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	6日 13日 22日	職員会議 リーダー会議 給食会議
10月	7日 11日~ 27日 31日	運動会 個人面談 誕生会 ハロウィン	各自	人権擁護の為のセルフチェック	7日 27日	避難訓練(竜巻) 防犯訓練(不審者が来園した際の通報)	1~10日 5日 6日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	6日 18日 20日	職員会議 リーダー会議 給食会議
11月	25日 24日	食育集会 誕生会	各クラス	室内の危険箇所チェック	10日 17日	消防署立会い避難訓練(火災) 防犯訓練(事務所の職員不在時の不審者対応)	1~10日 1日 2日 29日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定 園児内科検診(ほそあい内科)	8日 17日 22日	職員会議 リーダー会議 給食会議
12月	3日 14日 22日 34日	発表会 4・5歳児クッキング 誕生会 クリスマス会	16日	おしりの拭き方	13日 各クラス	避難訓練(夕方の合同保育中の地震) 防犯訓練(散歩中に不審者)	1~10日 1日 2日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	7日 22日 22日	職員会議 リーダー会議 給食会議
1月	5日 26日	正月あそび集会 誕生会	各自	業務改善案の提出	各クラス 26日	避難訓練(散歩中の地震) 防犯訓練(早朝保育中に不審者)	1~10日 4日 5日	職員検便 乳児身体測定 幼児身体測定	10日 24日 26日	職員会議 リーダー会議 給食会議
2月	3日 7~16日 22日	豆まき集会 クラス懇談会 誕生会	-	職員不足の為実施できず	9日 16日	避難訓練(午睡中に地震) 防犯訓練(園庭から不審者)	1~10日 1日 2日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	7日 16日 21日	職員会議 給食会議 リーダー会議
3月	3日 14日 14日 15日 23日	ひなまつり集会 卒園式 卒園遠足 3・4歳児クッキング 誕生会	30日	業務改善・次年度申し送り	13日 29日	避難訓練(早朝保育中に地震) 防犯訓練(午後おやつ時に不審者)	1~10日 7日 8日	職員検便 幼児身体測定 乳児身体測定	9日 16日 16日 30日	職員会議 リーダー会議 給食会議 申し送り会議

6. 第二種社会福祉事業　病児保育室きらら

令和4年度　事業報告

1. 総括

本年度は、利用児童数53人（前年度67人）、利用日数51日（前年度62日）となった。利用児童数は前年比79%、利用日数は前年比82%と減少し昨年度に引き続き、新型コロナウィルス感染者が増加時は病児保育の利用が減少となった。病児保育児の1日の受け入れを回復期の子ども1名と利用制限しており、問い合わせや予約はあるものの、診断が急性期となったため利用を断念する保護者も見られた。さらに、病児が通園している保育園で、新型コロナウィルス陽性者が発生した場合は利用不可としたため、濃厚接触児の受け入れの有無等の問い合わせが多くあり、利用申し込み後のキャンセル数が前年度より34%増加した。

9月に戸田市こども健やか部保育幼稚園課より医師会へ病児保育利用児は受診時に新型コロナウィルス抗原検査または PCR 実施のお願いを通知していただき、受け入れ側としても安心して病児保育児の対応に専念することが出来た。さらに、市内保育園での新型コロナウィルス感染陽性者の情報の提供があったことも安心材料であった。

次年度は、5月から新型コロナウィルス感染症の位置づけが現在の「2類相当」から「5類」への移行にあたり、保育幼稚園課と市内3か所の病児保育室での検討が必要と思われる。次年度も、利用児や保護者のニーズに合わせた安心・安全に利用できる病児保育室として支援していく。

2. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数（延べ数	2	7	10	4	2	7	8	5	1	2	1	4	53
利用日数	2	7	10	4	2	7	7	4	1	2	1	4	51
キャンセル人数	1	5	7	5	6	4	4	3	5	0	5	4	49
給食提供利用人数	0	0	1	2	1	3	4	0	0	2	0	1	14

3. 利用年齢

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
利用人数	9	27	10	6	0	1	0	0	0	0

4. 疾病別人数

	発熱	感冒	喘息	咽頭炎	溶連菌	インフルエンザ	突発性発疹	手足口病	胃腸炎	扁桃炎	気管支炎
利用人数	3	18	3	1	2	0	3	8	10	4	1

7. 第二種社会福祉事業　むつみ保育園

令和4年度　事業報告

1. 総括

新型コロナウィルス感染症が確認されてから3年の月日が流れ、日常の保育や行事内容についても感染対策を意識した取り組みが定着してきた。

しかしながら、繰り返す変異株の出現等により感染力が強くなったことで、家庭内や職場、保育園内でも子どもへの感染が急拡大するなど、未だ予断を許さない状況である。

そんな中にあっても、子どもたちが安心できる保育園、保護者が安全だと思える保育園、保育者が働きやすい保育園を目指し、コロナ禍でも楽しい保育を皆で模索してきた。

各種行事についても、感染状況に応じて乳児・幼児組に分かれて実施した行事と合同で実施した行事とそれぞれに工夫を凝らし、子どもたちにとってのよき経験となるよう職員が努力してくれた。

やはり合同行事になると、子どもたちの表情や熱量、目の輝きなどコロナ以前のそれに近いものを感じることができ、園生活における行事の意義や役割を再確認するとともに、どんな工夫が今後も求められていくのかを再考するきっかけとなったように感じている。

また、研修についオンライン化が定着し、その利便性を活用し、多人数の研修受講や閑散時間帯での受講など、より現場の実情に即した研修受講体制が今後は期待されていくものと考える。今後は集合研修も随時展開され、対面と非対面の両方を選択しながら、より効率的で合理的な研修受講を構築していきたいと考えている。

当年5月より感染症類型が2類から5類に引き下げられ、法的な制限がなくなる。次年度も新型コロナとどのように向き合い園運営を行っていくかが課題となるであろうが、職員間の連携を基軸に、子どもたちの最善の利益は何かを園全体で描いていけるよう、日々丁寧な保育に邁進してきたいと思う。

令和5年4月

むつみ保育園

園長 阿部　敬

2. 年間利用児数（各月１日現在在籍数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
いちご組	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46
ちょうちょ組	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	91
なのはな組	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
すみれ組	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	68
ばら組	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
合計	**31**	**32**	**33**	**33**	**33**	**33**	**33**	**32**	**31**	**31**	**31**	**31**	**384**

3. 職種別職員数（各月１日現在在籍数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常勤職員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
非常勤職員	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34
パート職員	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	34
嘱託医	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	**11**	**13**	**13**	**13**	**13**	**13**	**13**	**12**	**12**	**13**	**13**	**13**	**152**

4. 組織体制等（年度末日現在）

園長1名　主任保育士1名　副主任保育士1名　保育士7名　嘱託医2名

5. 勤務体制、時間等

・早　番　　7:00～16:00
・早３番　　8:00～17:00
・中　番　　9:00～18:00
・遅　番　　10:00～20:00　のうちの8時間

6. 職員研修実施内容

別紙のとおり

7. 年間行事実施内容

別紙のとおり

8. 災害訓練、健康管理、衛生管理、職員会議等実施内容

別紙のとおり

9. 設備、備品、遊具等の充実内容

・AED のリース契約を行い事務所に設置

・感染症対策として各保育室にサーキュレーターを購入し設置

・厨房内害虫駆除を専門業者に依頼し、通年実施

・水遊び用品の補充・拡充

10. 建物等修理・修繕実施内容

・保育室内園児手洗い場の腐食に伴う改修実施（感染症対策補助金活用）

・保育室内及び廊下の腰壁クロスの抗菌仕様への張替え改修実施（感染症対策補助金活用）

11. 苦情・要望等報告

・令和4年度の投書はありませんでした

・引き続き皆さんのご意見に誠心誠意対応してまいります

＜別紙＞

項目	行事・活動		職員研修		災害訓練		健康管理(健康診断・検便等)		環境整備・各種会議等	
月	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容	実施日	内容
4月	1(金) 7・21(木) 12(火) 22(金)	入園式・進級式 体操教室 英語教室 誕生会			6(水) 15(金)	避難訓練(図上訓練) 消火訓練 防犯訓練(図上訓練)	1~15 19(火) 20(水)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	7(木) 26(火)	職員会議 幹部会
5月	2(月) 10(火) 19・26(木) 27(金) 16・18・20・24・26	こどもの日の集い 英語教室 体操教室 誕生会 クラス懇談会			11(水) 18(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練 防犯訓練(不審者対応)	1~15 23(月) 24(火) 30(月)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児) 園児内科検診	7(金) 23(月) 23(月) 25(水)	園庭砂場修繕 職員会議 園内害虫駆除 幹部会
6月	2・23(木) 3(金)7(火) 10(金) 17(金)	体操教室 サッカー教室 英語教室 親子遠足 プール開き	21・22	AED研修	1(水) 17(金) 29(水)	避難訓練(水害想定) 消火訓練 防犯訓練(不審者情報) 消防署立会い訓練	1~15 13(月) 21(火)	職員検便 園児歯科検診 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	24(金) 28(金) 23(木)	職員会議 消防設備点検 幹部会
7月	5(火) 7(木) 14(木) 26(火) 21・28(木) 29(金)	英語教室 七夕の集い 夏祭り サッカー教室 体操教室 誕生会	12(火) 29(金)	私立保育園合同研修会(3名) 施設長特別研修会(1名)	8(金) 13(水)	避難訓練(早朝保育時) 消火訓練 防犯訓練(不審者対応)	1~15 25(月) 26(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	29(金) 23(土) 21(木)	職員会議 厨房グリストラップ清掃 幹部会
8月	2(火) 4・25(木) 26(金)	英語教室 体操教室 誕生会	10(水)	乳児保育研修会WEB(1名)	3(水) 10(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練 防犯訓練(不審者侵入)	1~15 22(月) 23(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	25(木) 26(金)	幹部会 職員会議
9月	15・22(木) 6(火) 9(金) 30(金)	体操教室 英語教室 プール納め 誕生会・引き渡し訓練	1(水)	キャリアアップ研修WEB(1名)	10(土) 14(水)	新北小へ避難訓練(水害想定) 消火訓練 防犯訓練(不審者情報)	1~15 20(火) 21(水)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	9(金) 20(火) 27(火)	実習生反省会 職員会議 幹部会
10月	1(土) 11(火) 4~11/1 13・27(木) 21/28 31(月)	運動会 英語教室 個人面談/クッキング 体操教室 サッカー教室/誕生会 ハロウィン	27 25	虐待防止研修(1名) お尻ふき講習会(1名)	5(水) 12(水)	避難訓練 防犯訓練(情報連携)	1~15 17(月) 18(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	20(木) 28(金)	幹部会 職員会議
11月	1(火) 4(金) 9(水) 10・17(木) 25(金)	英語教室 サッカー教室 交通安全教室 体操教室 誕生会	14	市・保育の心理学(1名)	2(水) 18(金)	避難訓練(火災) 消火訓練 防犯訓練(不審者情報)	1~15 21(月) 22(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	14(月) 19(土) 24(木) 25(金)	主任会 厨房グリストラップ清掃 幹部会 職員会議
12月	1・22(木) 10(土) 13(火) 16(金) 23(金)	体操教室 発表会 英語教室 誕生会 クリスマス会			7(水) 14(水)	避難訓練(地震想定) 消火訓練 防犯訓練(不審者情報)	1~15 12(月) 13(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児) 園児内科検診	13(火) 16(金) 27(火) 22(木)	主任会 職員会議 消防設備点検 幹部会
1月	5・19(水) 10(火) 27(金)	体操教室 英語教室 誕生会			11(水) 18(水)	避難訓練(火災想定) 消火訓練 防犯訓練(不審者情報)	1~15 23(月) 24(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	27(金) 26(木)	職員会議 幹部会
2月	3(金) 21(火) 24(金) 27(月) 14~24	豆まき集会 クッキング 誕生会 サッカー教室 懇談会			8(水) 15(水)	避難訓練(土曜保育中) 消火訓練 防犯訓練(不審者情報)	1~15 20(月) 21(火)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	2~3/25 15(水) 21(火) 27(月)	水道と腰壁の改修 主任会 職員会議 幹部会
3月	3(金) 7(火) 9(木)/10(金) 18(土) 23(木) 24(金)	ひな祭り集会 英語教室 体操教室/サッカー教室 卒園式 誕生会 卒園遠足(5歳児)	6・7・8	キャリアアップ研修(1名)	1(水) 11(水)	避難訓練(おやつ時地震想定) 消火訓練 避難訓練(市ｼｪｲｸｱｳﾄ参加)	1~15 20(月) 22(水)	職員検便 身体測定(幼児) 身体測定(乳児)	3(金) 4(土) 14(火) 18(土)	主任会 厨房グリストラップ清掃 幹部会 職員会議

8. 第二種社会福祉事業　むつみ保育園一時保育事業

令和4年度　事業報告

1. 総括

令和 4 年度延べ利用児童数は 55 人と少なかった。職員配置上の受け入れ態勢が整わず、受付自体を行えなかった月もあった。利用希望者にとってのニーズは減少していないので、受け入れ態勢を早急に整え、そのニーズに応えられるように努力していきたいと思う。

市役所にて年2回一時保育事業実施園合同連絡会が行われた。一時保育事業が直面している現状と課題について各実施園からの報告や共有がなされた。実施園ごとに創意工夫点が異なり、大変参考になった点も多かったが、市内実施園の傾向として、どの園も職員体制が整わずやむなく縮小あるいは休止措置を取るなど、一時保育事業の継続が危ぶまれているようであった。保育園自体の定員割れが起こり、待機児童対策としての一時保育の位置づけは難しくなってきたように思う。ただ、希望園への入園が叶わず、継続して申請したい保護者にとっては、その間の子どもの預け先としての選択肢として、活用されている様子もあり、少人数でゆったり見てくれるこちらで利用してみたいという家庭が数件あった。それに伴い、初回の慣らしの際にできるだけ子どもが泣かずに笑顔で過ごせるかを考え、子どもと丁寧に向き合っていくことを心掛けていった。

園内では、新型コロナウィルスの感染拡大防止策を講じながら、同年齢児のクラス活動への参加を徐々に再開して一時保育単独での活動と共に集団活動にも参加できる機会を設けることで、お預かりするお子様一人ひとりの成長に合わせた保育提供ができたものと思う。

来年度も職員間で協力しながら、保護者、子どものニーズに合った保育を行っていけるようにしていきたい。

利用状況の一覧表を次ページに表示する。

2. 利用児数実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	１２月	1月	2月	3月	合計
総利用児童数	0	2	7	11	8	9	7	1	0	0	4	6	55
乳児	0	2	7	8	1	9	7	1	0	0	4	6	45
幼児	0	0	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	10

3. 利用事由及び時間数

利用事由	**時間**	4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	1月	2月	3月	合計
就労	1日			2	3	7		1						13
	半日			1	6		2	2					1	12
就学	1日													0
	半日													0
面接	1日													0
	半日													0
職業訓練	1日													0
	半日													0
学校行事	1日													0
	半日											1		1
通院	1日													0
	半日			1									1	2
看護	1日													0
	半日													0
冠婚葬祭	1日													0
	半日													0
傷病	1日													0
	半日													0
産前産後	1日						5							5
	半日													0
慣れ保育	1日													0
	半日			1				1				2	3	7
リフレッシュ	1日			1	1		1							3
	半日		2	1	1	1	1	3	1			1	1	12

9. 第二種社会福祉事業　むつみ学童クラブ第一・第二

令和4年度　事業報告

昨年度に引き続き、新型コロナ感染症対応に追われる中、市当局と連携を図り、提供できるうる支援サービスを職員連携のもと実施する1年となった。少子高齢化が急速に進む中、学童保育を取り巻く社会環境も大きく変化をし、また、社会経済も物価の高騰で、経済格差が拡大を続けてしまうのではと心配している。

むつみ学童クラブもまた、法人の目標である「子育て支援・家族支援」を念頭に置きながら、地域に開かれ、また貢献できる施設づくりを目指しつつ、関係機関とのネットワークの強化さらなる向上に努めてきた。

弱い立場にあるひとり親家庭や経済的困窮世帯および若年子育て家庭には厳しい状況にあることに変わりがない中、関係機関のご協力を賜りながら、今年度についても職員一体となり鋭意努力を重ねた。今後も現状に甘えることなく、効率的・効果的な経営を実践して更なる発展を目指し努力を積み重ねていきたい。

学童クラブでも、ひとり親世帯や虐待被害児童等、さまざまな事情を抱える児童や家庭への支援が求められており、法人全体の持つ機能や職員の専門性を少しでも提供できるよう、母子生活支援施設むつみ荘の少年指導員を導入し、学童保育運営について相談業務にあたるようにしている。

今年度についても「地域社会から必要とされる施設」を目指し、弊会の様々な事業（学習支援事業、食育サポート事業、彩の国あんしんセーフティーネット事業等）の周知に努め、地域の子育て拠点の一翼として、現状に甘んじることなく、スタッフがチームとして、互いのよいところを活用しながら、児童と家庭を見守り、応援する――学童保育の質の向上――を目指し、職員一人ひとりが鋭意努力を重ね、さらなる改善・努力及び工夫に取り組みたい。

令和5年4月

むつみ学童クラブ　第一・第二

統括施設長　永塚博之

1. 運営目標と結果

1）学童保育の資質向上

・コロナ禍の中、玩具の消毒や、人との距離（ソーシャルディスタンス）に配慮し、コロナ感染等の感染症の予防に努めました。
・児童に対して、コロナ禍ではあっても、一方的に保育者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、保育の中心は「児童が主体」であるという認識のもと、すごしやすい環境を整えました。
・年齢の異なる児童たちに班での役割つくり、自主的に片付けや清掃を促しました。
・児童の意欲を引き出せるような遊具を揃え、児童同士で遊べるような環境を整えました。
・卓球や工作など、職員による働きかけを通じ、児童の様々な可能性を引き出す活動を行いました。

2）職員の資質向上

・児童一人ひとりにしっかりと向き合い、よいこと・気になることを保護者と共有するとともに、職員間で対応を共有化しました。
・専門性を高めるため、埼玉県学童保育協議会を通じて『日本の学童ほいく』雑誌を年間購読し、毎月の学童保育のあり方について、自己学習に努めました。
・児童の発達、年齢、性差についての理解に努め、個人差、個性に留意して接しました。
・埼玉県主催の心のケア研修に全職員を参加させ、DV 被害児者の傷つきと対応について学びを深めました。また、児童支援員管理者研修に参加させ、働きやすい職場づくり等を学びました。

3）職員の協力体制

・むつみ荘やむつみ学習支援センターと協働し、児童への行事や学習支援を行いました。
・職務分掌を定め、それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあう体制づくりに力を入れました。
・職員同士、積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良いかかわりを一緒に見出すため、「よいこと報告シート」を作成し、児童の多様なよい面を取りあげ、職員間で共有する仕組みを作りました。
・コロナの状況等確認し、熱がある職員には退勤してもらう等対応をし、また、コロナに関係することなど役所に確認し指示を仰ぎ、他学童で感染予防を行なっている情報等整理し、むつみ学童に反映していきました。
・市内中学校で生徒教員を襲う事件が発生した際には、施錠などの対策を強化しました。

4）保護者との関係づくり

・施設内でのけがや病気、児童間のトラブルなど、日ごろから伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、保護者の思いを受け止め、信頼関係を築くように努めました。
・保護者からいただいた要望については、できる限り丁寧に耳を傾け、対応したことについて、保護者にフィードバックするよう心掛けました。

・コロナ感染対策等お迎えの際、アルコール消毒をしてもらうよう玄関に消毒装置を設置しました。感染の流行が強まった際や防犯対策強化での施錠の際は、玄関先対応にご協力いただきました。

5)関連機関との関係づくり

・新曽北小学校学童クラブには、校庭に遊びに出る際は必ず挨拶するように努め、よい関係が構築できるよう心掛けました。また入室児童が新曽北小学校学童クラブとの違いに不自由を感じないよう、色々と教わり、同等の支援サービスになるよう工夫しました。
・児童青少年課には、保護者要望、事故、修繕などを報告し、連携を欠かさないように努めました。

2. 利用実績

1)各月１日現在在籍数（令和5年３月31日時点）

児童数・職員数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
第一　児童数	**24**	**23**	**22**	**22**	**22**	**18**	**18**	**16**	**16**	**16**	**16**	**16**	**229**
3年生	6	6	6	6	6	3	3	2	2	2	2	2	46
4年生	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	125
5年生	6	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	46
6年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
第二　児童数	**22**	**23**	**22**	**22**	**23**	**21**	**21**	**21**	**20**	**20**	**20**	**20**	**255**
3年生	7	7	7	7	8	6	6	6	6	6	6	6	78
4年生	10	9	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	95
5年生	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
6年生	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34
職員数	**13**	**14**	**15**	**15**	**16**	**17**	**17**	**17**	**17**	**17**	**17**	**17**	
学童支援員	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	
補助支援員	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	
法人職員	2	3	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	

2)組織体制

統括責任者：統括施設長1名(理事長)
法人相談員：基幹的職員1名(防火管理者・衛生推進者)、相談員5名、学習支援員1名、
学童支援員：放課後児童支援員3名、
補助支援員：学童指導員2名(無資格、経験2年以上)、学童補助員5名(無資格)
(放課後児童支援員9名、社会福祉士2名、保育士2名、教員資格3名、公認心理師1名を含む)

3)勤務体制・時間

常　勤	早　番　7:30～16:00	中　番　10:30～19:00
非常勤	早　番　9:00～18:00	中　番　10:00～19:00
パート	早　番　9:00～15:00	中　番　13:00～19:00

4）修繕・設備整備（有償）

・防虫防除（年2回）	中越クリーンサービス	
・消防設備点検（年2回）	駒崎商会	
・館内業者清掃（年1回）	環境クリエイト	
・EVホール掲示板ボード増設	テラオカ	後日学童玄関にも設置
・男子トイレ流れ改善	池田水道	調整の仕方を教わり改善
・ビジネスフォン交換	スターティアリード	
・EVホール雨除け設置	テラオカ	後日1階、3階にも設置
・LANケーブル交換修理	スターティアリード	

5）寄付報告

・寄付をいただきました。ありがとうございます。

1） 岡田 様 漫画雑誌『ちゃお』計 10 点

6）行事報告

行事名/種類		実施日／概要
4月誕生日会	集会	令和 4 年 4 月 28 日 （ 木 ） 15 時 30 分 ～ 16 時 0 分 場所： 第二複合施設学童保育室
参加者： 小学生 31 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 9 名 その他（ ） 名 円		4月の誕生会として、間違い探しのプリントをやりたい児童のみで配布している。 大半が行っていた。一緒に職員も行っていたが、やや難易度が高く、児童も率先して行うことができていた。
5月誕生日会	集会	令和 4 年 5 月 30 日 （ 月 ） 14 時 15 分 ～ 15 時 45 分 場所： 第二複合施設学童保育室
参加者： 小学生 36 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 6 名 その他（ ） 名 円		5月の誕生会として、脳トレプリント、迷路プリントををやりたい児童のみ配布している。参加児童も多く、職員と話をしながら行う児童が多かった。
6月誕生日会	集会	令和 4 年 6 月 23 日 （ 木 ） 15 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所： 第二複合施設学童保育室
参加者： 小学生 36 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 9 名 その他（ ） 名 円		6月の誕生会としておやつ後、紙ちぎりゲームを行った。どこまで紙を時間制限ないまでちぎれるかを競うゲーム。 児童も積極的に参加しており、楽しんで紙をちぎっていた。後片付けも一緒に行うことができている。
7月誕生日会	集会	令和 4 年 7 月 20 日 （ 月 ） 14 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所： 第二複合施設学童保育室
参加者： 小学生 24 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 8 名 その他（ ） 名 円		7月の誕生会として、謎トレのプリントを配布し、謎を解いてもらう。 児童、職員が一緒になって行っており、協力して行う児童や、自力で問題を解く児童がいた。 楽しんで行っている様子だった。

行事名/種類		実施日／概要
8月誕生会	集会	令和 4 年 8 月 23 日 （ 火 ） 16 時 0 分 ～ 16 時 30 分 第二複合施設学童保育室
参加者: 小学生 22 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 7 名 その他( ) 名 円		8月の誕生会としてむつみ学童夏祭りを行う。行事内容としてヨーヨー釣り、ピンボール、くじ引きを行いまた、得点をつけ、競えるようにしている。 出席した児童は全員参加しており、楽しく行っている様子だった。
9月誕生会	集会	令和 4 年 9 月 26 日 （ 月 ） 15 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所: 第二複合施設学童保育室
参加者: 小学生 30 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 6 名 その他( ) 名 円		9月の誕生会として、間違い探しのプリントをやりたい児童、職員に配布している。 大半が行っていた。一緒に職員も行っていたが、やや難易度が高く、児童も率先して行うことができていた。
10月誕生日会	集会	令和 4 年 10 月 28 日 （ 金 ） 15 時 10 分 ～ 16 時 0 分 場所: 第二複合施設学童保育室
参加者: 小学生 23 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 10 名 その他( ) 名 円		10月の誕生会として、昭和レトロ間違い探しのプリントを児童、職員に配布して行っている。 児童の大半が行っていた。一緒に職員も行っていたが、やや難易度が高く、児童も率先して行うことができていた。
11月誕生会	集会	令和 4 年 11 月 17 日 （ 木 ） 15 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所: 新曽北小学校校庭
参加者: 小学生 27 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 名 その他( ) 名 円		11月の誕生日会として、脳トレプリントをを準備し、児童、職員に配布し、みんなで行うことができている。児童全体で行うことができており、みんなで協力して問題を解くことができている。
12月誕生会	集会	令和 4 年 12 月 26 日 （ 月 ） 15 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所: 第二複合施設学童保育室
参加者: 小学生 17 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 11 名 その他( ) 名 円		12月の誕生会として、国語のプリント、算数のパズルをやりたい児童のみ配布して行っている。学習室のドリルを使用して、3階にも楽しい学習教材があると周知をかねて行っている。
1月誕生会	集会	令和 5 年 1 月 24 日 （ 火 ） 15 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所: 第二複合施設学童保育室
参加者数: 小学生 24 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 9 名 その他( ) 名 円		1月の誕生会として、第二複合3階にて、宝さがしゲームを第一、第二で分かれて行う。早く見つけられた児童には、賞状を作成し渡している。 児童もほぼ参加しており楽しんでいる様子が伺えている。
2月誕生会	集会	令和 5 年 2 月 22 日 （ 水 ） 15 時 0 分 ～ 16 時 0 分 場所: 第二複合施設学童保育室
参加者数: 小学生 21 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 10 名 その他( ) 名 円		2月の誕生会として、プリントに文字が書かれた、文字探しゲームを行ってる。 2月は誕生者がいなかったため、お楽しみ会として会を行っている。 全体的な入室児童は少なかったものの、楽しく行えている様子だった。
3月誕生日会	集会	令和 5 年 3 月 29 日 （ 水 ） 14 時 0 分 ～ 15 時 0 分 場所: 新曽北小学校 校庭
参加者数: 小学生 20 名 保護者 名 職員・実習生・Vr 11 名 その他( ) 名 円		3月の誕生会、兼卒業進級を祝う会を行う。 新曽北小学校校庭にて児童対職員の鬼ごっこ(逃走中)を行っている。 参加者を募ると、一人だけ残り、他は参加している。 児童、職員ともに、楽しんで行っているように見えた。

7）防災訓練報告

火災・地震・台風・水害に備え、通報・防火防災・避難訓練を行った。本年度は、職員全体での訓練をテーマとし、さらなる訓練方法の見直しを図ることを目的に、職員向けの訓練を多くした。次年度も引き続き、各部署の担当者とともに訓練方法の見直し、大地震や水害他の非常事態に備えたい。

実施日	訓練種別	内 容
4月28日	図上訓練	職員に対して、危機管理研修を行ない、情報の共有化を図った。
5月15日	リュック点検 水害対策	水害を想定し避難と一緒に、リュックの点検と、資料の場所を目視による確認と情報共有を図った。
5月27日	図上訓練	持ち出し資料の確認を学童に在籍している職員に周知し、情報共有を図った。
6月25日	消防設備点検	業者による設備点検を行った。
7月20日	救命救急	熱中症及び対策に関して情報を共有。
8月25日	防災訓練	震災等を想定した避難訓練と、危険個所の確認を行う。
9月28日	防災訓練	災害時を想定した避難訓練と、安全行動ができるように意識づけを図った。
10月18日	防犯訓練	「いか・の・お・す・し」を用いて、防犯の意識づけを図った。
11月16日	防災訓練	火災を想定した避難訓練を実施する。
12月11日	消防設備点検 防災リュックの確認	業者による設備点検を行った。一緒に防災リュックの確認を行う。
1月20日	防災訓練（火災）	水消火器を使用して児童と職員の訓練を行う。
2月18日	消火器訓練	練習用消火器を使用し、子どもに使い方を周知した。又、職員には火災発生時の動きを周知した。
3月27日	防災訓練	職員の初期消火活動及び、児童の消火訓練と避難訓練を行う。
3月29日	担当者会議	今年度の振り返りと来年度の予定作り、防災などの情報の共有化

担当者会議	全職員	火災	地震	水害	業者	その他
1	2	3	2	1	2	4

8）事故等検討委員会

事故報告書等を作成のうえ、原因や改善点などを分析・検討し、再発を防ぐよう努力する。

＜事故等検討委員会＞
10月28日　支援員・補助員・相談員が参加し、事故を振り返るとともに、対応について協議した。

事故報告事項（抜粋）

日付	表題	内容
5/11	児童の外傷	校庭の鉄棒にて。走っている際、鉄棒をくぐろうとしてぶつけた。
7/4	確認不足	外遊び用のリュックを校庭に忘れてしまった。担当で校庭まで持っていく。リュックを他の職員に預ける。預けた職員が途中で交代になり、リュックを校庭の端に置き、校庭から学童に戻ってしまう。
2/3	児童の外傷	集会室にて卓球を行なっていると女児3人がじゃれ合っている。児童の右目と同級性女児の頭がぶつかった。児童の右瞼がうっすら腫れていることに気づき、本児からぶつかった状況を確認。

ヒヤリハット抜粋

日付	表題	内容
10/15	児童の様子	外遊びに出かける際、学童前の道路を歩いた際、左側に 1 台停まっている車があった。車に沿う形で歩いていたところ、車とこちらの間の隙間スピードを落とさず自転車に乗った高齢男性がきた。

10. 公益事業　むつみ学習支援センター

令和4年度　事業報告

昨年度に引き続き、新型コロナ感染症対応に追われる中、市当局と連携を図り、提供できるうる支援サービスを職員連携のもと業務にあたった1年となった。当年度も、このような状況にもかかわらず、ボランティアのみなさまが継続的に参加してくだり、子どもたちの学習支援の場を守ることが出来たことは、大きな成果の一つである。

学習支援では、参加児童の勉強もさることながら、安心できる居場所になることが大切である。学習指導の方法などについては課題はあるが、引き続き、子どものものの見方に合わせた個別性の高い指導を心掛けたい。保育士、社会福祉士の実習生に加え、今年度も公認心理師の実習生（大学院生を含む）にご協力を頂き、学習支援方法について、ボランティアを交え検討する機会を多く持つことができた。各分野の専門家の卵が子どもたちに教えながら、自分達も教え方の学びを深めると言う機会は、学習支援の場に「学ぶ姿勢」「チャレンジする気持ち」をもたらすと同時に、子どもたちにとっても、将来を考えるロールモデルとしての期待が大きいと思われる。

このように、法人の目標である「子育て支援・家族支援」を念頭に置きながら、地域に開かれ、また貢献できる施設づくりを目指しつつ、関係機関とのネットワークの強化さらなる向上に努めてきた。6月より、新規事業としてむつみ会食事補助クーポン事業を戸田市・戸田市社会福祉協議会・戸田市商工会の全面的バックアップの元開始することができ、戸田市より委託の「戸田市こどもの学習支援事業」の対象児童にも配布できた。

また、むつみ学習支援センターでは、非営利の個人・民間団体に対して、地域交流スペースの貸出（貸会議室事業）を行っている。例年のような研修で利用に加え、子ども食堂に利用していただけるなど、地域との連携が可能となってきている。

次年度も「地域社会から必要とされる施設」を目指し、弊会の様々な事業（学習支援事業、食育サポート事業、彩の国あんしんセーフティーネット事業、食事補助クーポン券配布事業）の周知に努め、地域の子育て拠点の一翼として、現状に甘んじることなく、スタッフがチームとして、互いのよいところを活用しながら、児童と家庭を見守り、応援する――学習支援の質の向上――を目指し、職員一人ひとりが鋭意努力を重ね、さらなる改善・努力及び工夫に取り組みたいと思う。

令和5年4月

むつみ学習支援センター

統括施設長　永塚博之

1. 運営目標と結果

1）学習支援の資質向上

・児童に対して、一方的に支援者の考えを押し付けたり働きかけたりするのではなく、「児童が主体」であるという認識のもと、 学習者中心の指導を行いました。
・年齢の異なる児童の集中力に合わせて休憩時間を設け、リフレッシュを促しました。
・児童の意欲を引き出せるような学習教材を揃え、自主学習しやすい環境を整えました。

2）職員・ボランティアの資質向上

・ボランティア受け入れに際し、本事業と活動について十分な理解が得られるよう研修を実施し、子どもの貧困や学習支援の意義や個人差などの背景知識、ご説明しました。
・児童一人ひとりにしっかりと向き合い、年齢や精査に応じた指導を通じ、「できた・わかった」という経験ができるよう、毎回学習指導後に、職員とスタッフ間で課題を共有化しました。
・実習巡回の先生より助言をいただき、中学生の学習成果の定着を促す工夫を検討しました。

3）職員・ボランティアの協力体制

・むつみ荘やむつみ学童クラブと協働し、児童への学習支援を行うよう努めました。
・職務分掌を定め、それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあえる体制づくりに、心がけました。
・職員は、ボランティアに対してコミュニケーションをはかり、児童にとって、より良いかかわりを一緒にできるよう、関係構築を心がけました。
・指導的な方法よりも、支援的な方法を重視するよう、ボランティア・支援者に協力を求めました。
・ホームページを通じたボランティア参加申し込みが多くなっており、インターネット等での発信の重要性を再認識しました。

4）保護者との関係づくり

・児童に対する気がかりなど来所や電話、寄付品の配布等を通じての関わりを持ちました。
・保護者からいただいた要望については、できる限り丁寧に聴きとり、対応したことについて、保護者にフィードバックするよう心掛けました。

5）関連機関との関係づくり

・戸田市役所担当課の職員や教育支援員から、本事業への見守りやご指導をいただきました。
・母子生活支援施設むつみ荘への実習指導校（保育士、社会福祉士、公認心理師の各コース）に、ボランティアの募集のご協力をいただきました。

2. 利用実績

1)各月実績

令和4年度 児童数・スタッフ数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計 (回/人)
実施回数	16	15	16	16	16	16	16	16	16	15	13	15	186
児童数	**62**	**72**	**64**	**71**	**68**	**60**	**73**	**72**	**49**	**39**	**55**	**40**	**725**
中学生小計	**28**	**42**	**41**	**36**	**37**	**38**	**42**	**49**	**28**	**23**	**38**	**23**	**425**
中学3年生	19	19	16	13	12	15	14	11	7			0	126
中学2年生	6	5	6	7	7	7	23	28	8	15	21	8	141
中学1年生	3	18	19	16	18	16	5	10	13	8	17	15	158
小学生小計	**34**	**30**	**23**	**35**	**31**	**22**	**31**	**23**	**21**	**16**	**17**	**17**	**300**
小学6年生	8	3	3	10	8	6	10	7	4	1	5	4	69
小学5年生	12	12	8	11	11	8	10	7	8	9	6	7	109
小学4年生			3	1			1					0	5
小学3年生	5	7	5	7	8	5	6	5	5	4	4	5	66
小学2年生	8	5	3	4	3	2	4	4	4	2	2	1	42
小学1年生	1	3	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	9
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ数	**41**	**35**	**36**	**34**	**29**	**27**	**30**	**30**	**34**	**41**	**30**	**33**	**400**
社会人	14	12	11	16	13	11	15	14	16	15	14	13	164
大学生	18	17	18	11	8	12	10	10	13	17	11	12	157
高校生	9	6	7	7	8	4	5	6	5	9	5	8	79
職員及び実習生	**38**	**39**	**60**	**54**	**48**	**46**	**49**	**48**	**43**	**39**	**31**	**32**	**527**

※中学三年生実績

継続利用した 5 名は、いずれも高校への進学を果たした。

（内訳：公立高校進学5名、私立高校進学なし）

2)組織体制

統括施設長1名　支援主任1名（防火管理者・衛生推進者）　相談員5名　学習支援員1名

（資格：　社会福祉士2名、保育士2名、放課後児童指導員4名、公認心理師1名を含む）

3)勤務体制・時間

常 勤　　早 番　9:00～17:30　中 番　10:30～19:00　遅 番　12:30～21:00

非常勤　　早 番　9:00～18:00　中 番　10:00～19:00　遅 番　12:00～21:00

4)修繕（有償）

・なし

5）寄付品

・寄付をいただきました。ありがとうございます。

現品名	詳細	寄付者名	数量
学習教材、資料	消しゴム、協議会チラシ	埼玉県社会福祉協議会	50 セット
	ノート	埼玉県社会福祉協議会	60 冊
	北辰テスト過去問	戸田市生活支援課	5 冊
	ノート、文具	戸田市子ども家庭支援室	
	ハンカチ・文具セット	坂口 久身江様	25 セット
食品	ブルボンエリーゼ	東京都福祉保健局	30 個
	カロリーメイト	東京都福祉保健局	80 個
	レトルトご飯	埼玉県社会福祉協議会	10 ケース
	レトルトカレー	埼玉県社会福祉協議会	10 ケース
	ラスク、フルーツゼリー	アセット・アドバイザー 安喰 正秀様	各 1 箱
	パン	暖家	310 個
生活用品	歯磨き、マウスウォッシュ、洗剤	ライオン株式会社	各3ケース

また、弊法人実施の「食事補助クーポン券配布事業」から、登録児童に対し、世帯人数分のクーポン券を配布した（計 54 枚）。

6）事故・ヒヤリハット報告

事故報告　1件

内容：一時行方不明（児童）

児童の自己判断で「一人で帰る」と主張。ボランティアスタッフが職員や保護者に確認をとる前に帰してしまった。のちに保護者が迎えに来所した際に状況を報告した。保護者によれば、学校の校庭で見つかったとのことである。

11. 公益事業　生計困難者に対する相談支援事業

（彩の国あんしんセーフティネット事業）

令和4年度　事業報告

『彩の国あんしんセーフティーネット事業』は埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の実施する事業である。弊法人では、平成26年9月より公益事業「生活困難者に対する相談支援事業」として、職員を相談員として派遣し、戸田市で暮らす経済困窮者の支援を行っている。

本事業は、失業・虐待・DV・けがや病気などが原因で生活困窮状況に置かれた方々が、各福祉制度につながるまでの間、支援を行う活動である。原則、「相談→訪問→支援の決定」が大きな流れとなり、相談に応じ必要性を判断し、事業所長が決定権を持つ。支援には食材の提供等による支援や公共料金の滞納金の立替払いをするなどの一時的な経済的支援（限度額がある現物給付）も実施可能である。

また、よつば保育園では、同協議会が実施する「衣類バンク」にも協力している。

当年度もコロナ禍は続いているが、流行の少ない時期が出てきたこと、また経済困窮の度合いが強まってきていることから、相談件数は回復する傾向にある。ただ、困窮していても相談にたどり着けない方も潜在的に居ると思われる。今後、新型コロナウィルス感染症が第5類となり、経済的流動性が回復しても、急に経済格差等の問題が解決するわけではない。引き続き、地域の生活困窮者への支援の一端を担うべく、本事業を継続的に実施し、各機関と連携を図りたい。

相談者の年齢・性別	性別	20歳未満	20歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～70歳	71歳～80歳	81歳以上	不明	合計
	男			1				1			4
	女		1	1							

相談時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
				1			1			1		1	4

対応回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	合計
		1			2				1				20

相談種別※複数回答あり															
高齢	児童	母子寡婦	身体障害	知的障害	精神障害	DV	児童虐待	多重債務	生活保護受給中	生活保護申請中	失業	疾病	低所得	ホームレス	他
1	2				1	1	1	1	1	1	0	2	2		1

対応種別※重複有	相談のみ	相談訪問	現物給付	食材提供	合計
	1	3	1	1	6

給付金額	0	0～1000	1000～2000	2000～3000	3000～10000	10000～20000	20000～50000	50000～100000	合計
	2							2	4

※現物給付の1件は他の拠点より給付となっています。

支払合計金額	平均金額	支給　平均金額
￥155,596	￥77,798	￥77,798

12. 公益事業　食事補助クーポン券配布事業

令和4年度　事業報告

「食事補助クーポン券配布事業」は、定款に定められたひとり親世帯等経済的困窮世帯や子どもの居場所を利用する世帯を対象とした食育事業である。食育に関して、平成２０年１２月よりむつみ荘利用者と退所者、戸田市母子寡婦福祉会会員など戸田市内のひとり親世帯を対象に、NPO法人によるフードバンクの協力を得た「食育サポート事業」を実施してきた。

令和に入り、新型コロナ感染症が急拡大すると、様々な子育て家庭の経済的困難が社会課題として知られるようになった。そのため、弊会としても、支援対象を拡大する必要があると判断した。関連機関、子育て団体等に聞き取りを行って検討した結果、戸田市内在住のひとり親世帯等・経済的困窮世帯やその予備群（こども食堂・学習支援事業や子どもの居場所活動の利用世帯など）に対し、食育支援を行うこととした。 ただ、むつみ会単独で行える事業には限りがあるため、戸田市役所、戸田市社会福祉協議会、戸田市商工会、戸田ライオンズクラブ等の協力・後援を願い出たところ、快い協力が得られ、市内の飲食店との連携が可能となったのである。

本事業は、対象世帯の支援のみならず、地域、子ども・子育て家庭支援関係活動団体との連携を深めることが可能であるため、地域の児童福祉の向上も目指している。利用・協力・後援をいただいた当事者・関係者の皆様にはこの場を借りてお礼申し上げたい。

なお、当年度の実績は、以下のとおりである。協力店一覧は別紙参照のこと。

【クーポン券利用実績】

配布枚数　498枚配布（予算　1000枚×500円＝50万円）
（配布先：　戸田市母子寡婦福祉会、学習支援 L-Cafe、b＆gほか子どもの居場所）

回収枚数　199枚　（むつみ会支出　199枚×500円＝99，500円）

使用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	枚数
	-	-	-	-	15	17	17	0	12	7	51	80	199

利用協力店実績

協力店（敬称略）	枚数
暖家	97
カリッジュ	43
ふりゅい	2
ホルモン焼き福	14
やぶ忠	3
肉バル	11
ユーズデリ	2
芳せん	11
SoniDo	7
焼肉マヨン	9
合計	199

配布・利用方法

むつみ会にて、クーポン券を発行
1枚500円（年1回または2回）
↓
むつみ会関係団体への、クーポン券の配布依頼（経済的困窮世帯、子ども食堂他）
↓
対象世帯が協力店でクーポン券（500円分）を使用し、飲食店が利用者より差額分を徴収
↓
飲食店より連絡をいただき、むつみ会が、飲食店よりクーポンを回収し、枚数に応じたクーポン券代金（1枚　500円）を支払う。

（別紙）

社会福祉法人むつみ会　食事補助クーポン事業協力店一覧（令和4年 7 月 28 日現在）

	協 力 店 名（敬称略・順不同）	電 話 番 号	地 区
1	寿司　善	048-442-6226	上戸田
2	カフェ　トリア	048-444-7806	喜沢
3	和菓子　笹州	048-445-4868	喜沢
4	からあげやガリッシュ戸田公園店	048-229-7361	本町
5	You’s Deli	048-441-2823	上戸田
6	リゾート肉バル　アンダマンブルートダ	048-235-6335	本町
7	ガーリックダイニングバー	048-229-0085	本町
8	中華キッチン　TAKA	048-229-2287	本町
9	そば処　更科	048-441-5282	上戸田
10	パスティリー　タンタシオン	048-229-7634	本町
11	やぶ忠	048-432-0220	新曽
12	ゴハン屋　フタバ	048-442-7775	本町
13	かふぇ　ふりゅい	048-421-1148	笹目
14	芳せんカフェ　ひとしずく	048-441-6308	本町
15	グレートアジア	090-6625-8084	上戸田
16	Le　Copain	048-299-6534	新曽
17	ホルモン焼き　福	048-271-9255	新曽
18	ビストロ　プティ　ラ　ジョワ	048-441-4998	中町
19	焼肉　マヨン	048-291-8877	新曽
20	ママ応援カフェ　ソニード	080-4290-1122	上戸田
21	さぼり場	048-229-0889	本町
22	石窯パン工房　暖家	048-446-2233	上戸田
23	肉々　にんにく	080-3507-0160	喜沢
24	中華旬菜酒家　ぼんぼん	048-442-1326	本町
25	スープカリー　シーエス	048-420-5105	新曽
26	お好み焼き　じゅうべい	048-441-9971	新曽
27	Kiteya　Kitchen	048-446-7050	新曽